

平成26年度
図書館年報

ASIA UNIVERSITY LIBRARY
Annual Report 2014.4/2015.3



Q 亜細亜大学・亜細亜大学短期大学部 図書館

学術情報部学術情報課

CONTENTS 目次

Asia University/Asia University Junior College Library Annual Report 2014.4/2015.3

館長巻頭言・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1	オンラインデータベース・・・・・・・・・・	28
Topics 今年度の話題・・・・・・・・・・	2	オンライン検索利用統計グラフ・・・・・・・・	30
地域中高生への図書館開放・・・・・・・・	2	図書館での利用範囲・・・・・・・・・・	33
図書館総合演習授業補助・・・・・・・・	2	Library Note・・・・・・・・・・	34
学園史展示室・・・・・・・・・・	3	第79号 ようこそ！亜細亜大学図書館へ・・・・・・・・	34
図書館防災マニュアル改定版・・・・・・・・	5	第80号 図書館からのお知らせ・・・・・・・・	34
中学生職場体験・・・・・・・・・・	5	第81号 夏休み貸出と開館日のお知らせ・・・・・・・・	35
補助金採択資料一覧・・・・・・・・・・	6	第82号 図書館からのお知らせ・・・・・・・・	35
オンラインデータベースの動向・・・・・・・・	7	第83号 冬休み貸出と学年末 試験期間中の貸出・・・・・・・・	36
逐次刊行物チーム・・・・・・・・・・	9	第84号 長期貸出と開館日のお知らせ・・・・・・・・	36
受入データーチーム・・・・・・・・・・	10	Library Mail・・・・・・・・・・	37
図書館の工事・・・・・・・・・・	11	第25号 春 2～4Fフロアの大幅 リニューアル 他・・・・・・・・	37
プレゼンテーションルーム施設一覧・・・・・・・・	12	第26号 夏 夏休みの近隣中高生へ の図書館開放 他・・・・・・・・	39
平成26年度図書館運営委員会議題・・・・・・・・	13	第27号 秋 3F自習フロア 他・・・・・・・・	42
平成26年度学術情報部 業務目標・・・・・・・・	15	第28号 冬 オンラインデータベース「EBSCO A to Z」 他・・・・・・・・	44
図書館の組織図 人事異動・・・・・・・・	17	図書館日誌・・・・・・・・・・	47
職員研修・・・・・・・・・・	18	図書館全体・関係団体会議等出張記 録・庶務チーム・・・・・・・・	47
司書講習に参加して・・・・・・・・	19	レファレンス・図書受入・データ・ 逐次刊行物チーム・・・・・・・・	48
AUAPの視察研修・・・・・・・・・・	21	資料・・・・・・・・・・	50
私図協研究会にて長期海外研修報告・・・・・・・・	23		
図書館概況・・・・・・・・・・	24		
分野別資料受入状況・・・・・・・・・・	25		
利用者統計・・・・・・・・・・	26		
利用者サービス・・・・・・・・・・	27		



図書館長 長田 秀一

利用者アンケートを踏まえて思うこと

図書館 2・3・4 階の改修を機会に、サービスの改善を目指して、利用者アンケートを実施した。要望のあった開館日数や開館時間の延長等に関しては、図書館運営委員会でもとりあげ、検討を行った。本稿では、昨年度実施した「利用者アンケート」を踏まえ、学修支援について述べることにする。

アンケートで、図書館でよく利用する資料を尋ねたところ、インターネットの利用（28.1%）が図書の利用（24.9%）を上回っていた。学生の情報利用が図書等の印刷物から、インターネット情報資源の利用へと変化している。今後は、電子書籍やデータベースの利用促進、さらには MOOC、e ラーニング、反転授業等をも考慮に入れた学修支援を検討していく必要があるだろう。しかし、こうしたデジタル情報資源に対する本学の学生の関心は依然として低い状況にある。

今後 20 年間で職業は大きく変化するといわれ、先進諸国ではキー・コンピテンシーや 21 世紀型スキルの育成が模索されている。これらのスキルは、思考の方法としての創造性とイノベーション、批判的思考・問題解決、学習方法・メタ認知、働き方やツールとしてのコミュニケーション、チームワーク、情報リテラシー・ICT リテラシー、地域とグローバル社会で生きるためのシティズンシップ、人生とキャリア発達、異文化理解と異文化適応能力等で、自ら「学び続ける力」があって初めて達成できる内容のものである。

生涯学び続けなければならない時代において、大学教育に求められるのは、学生が卒業までに何を身につけ、何ができるようになったのか、その成果（アウトカム）である。大学ではカリキュラムや教育方法の見直しが行われ、アクティブラーニングが導入されつつある。アクティブラーニングは、学習者自らの能動的な活動を通じた「主体的な学び」だが、日本で根づくのは難しいといわれる。

図書館（員）は、情報リテラシー教育を通して主体的な学びを支援してきた。情報リテラシー教育では、学生が必要を感じた時の支援が一番効果的であることから、カウンターで質問に回答するだけの受動的な姿勢から、iPad を片手に館内を動き回りタイムリーに学生の課題解決を支援する能動的なルーミングサービス、さらには個人的な学修支援やアドバイスを行うパーソナル・ライブラリアン・サービスの導入へと変化しつつある。また、従来は個人の情報スキル育成に重点をおいていたが、デジタルツールの理解を含めた協同リテラシー、メタリテラシーへとその概念が拡張している。

主体的な学びにおいては、教師中心よりも「学修者中心」の学びの方が短期間での熟達、長期記憶での保持、あるいは理解度の点で優れており、特に批判的思考法、創造的な問題解決、前向きな態度や自信が身につくことも判明している。そのためには、一人一人の学修者に目を向け、学修者の経験、ものの見方、興味、能力、欲求等を考慮に入れる必要がある。こうした個人に適した学修支援を行うためにも技術の利用は有効である。

大学での伝統的な教育や図書館サービスの在り方はすでに過去のものとなりつつある。真の専門家（性）とは何か、学ぶ者の視点に立った学修支援はいかにあるべきかが問われている。教えるものと学ぶものが互いに学び合い、成長していくことが大事な時代といえよう。（平成 27 年 6 月）



地域中高生への図書館開放

亜細亜大学の地域貢献活動の一環として、夏季休暇中に近隣の地域中高3校を対象に大学図書館を開放した。

大学図書館を利用するにあたり、ガイダンスと館内ツアー実施した。

実際に利用した人数は中学生8名、高校生4名、延べ人数43名となり、地域のクールシェアスポットとして、多くの資料が整った環境で勉強ができ、何度も来館する生徒さんもいた。次年度に向けては、さらに多くの学校へ案内をし、地域との関わりを密にしていきたい。

対象校：武蔵野市第二中学校

都立田無高等学校

私立大成高等学校

開放日程：2014年8月4日（月）から

2014年9月19日（金）まで



図書館総合演習授業補助

昨年度に引き続き、図書館学課程の「図書館総合演習」で行った大学図書館の業務体験実習の授業補助を図書館職員が行った。

実習生は13名で、図書館職員4名が教員と打ち合わせを行い、図書受入、雑誌受入、ガイダンスなどの学生への授業支援を行った。

学生は、目録作成や装備、雑誌の受入、ガイダンスの実施体験など、実際の図書館業務を経験したことで、授業の理解もさらに深まったようだ。

日程	主 題	場 所	担当
4月25日(金)4限	恒当様邸 図書館のバックヤードも含めた館内の見学	集合1F総合カウンター プレゼン①	全員 木野村
6月6日(金)4限	前半:図書業務に関するインストラクション 後半:図書データ作成(講義・実習)	プレゼン②	江野・川北 (データチーム)
6月13日(金)4限	図書の装幀から配架まで(講義・実習)	プレゼン③	川北 (データチーム)
6月20日(金)4限	前半:カウンター業務対応(講義・実習) 後半:図書業務の振り返りと質疑応答	プレゼン④	川北 (データチーム)
6月27日(金)4限	前半:雑誌業務に関するインストラクション 後半:郵便物処理(実習)	プレゼン⑤	木野村 (送付チーム)
7月4日(金)4限	前半:雑誌の受入・配架(講義・実習) 後半①:字面コンテンツ登録作業(講義・実習) 後半②:雑誌業務の振り返りと質疑応答	プレゼン⑥	木野村 (送付チーム)
7月11日(金)4限	前半:施設見学(紀伊國屋書店の電子資料に関する施設) 後半①:図書館広場について 後半②:利用者ガイダンス準備	プレゼン⑦	藤巻 江野 木野村
7月18日(金)4限	前半:利用者ガイダンス体験 インターンシップを振り返る	プレゼン⑧	木野村 藤巻 全員



学園史展示室

【展示室経緯】

○開設の目的

創立45年を契機にそれまでの歴史資料が散逸するのを防ぎ、資料を整理・展示することによって、本学の歴史を知ってもらうことを目的として開設した。

○開設時期

昭和61年11月3日に1号館3階に2スパン、85.5㎡で開設。担当部署は企画室で、その後総務課へ移管。

平成6年4月に太田耕造記念館（図書館）に学園史展示室、204.2㎡が新たに開設され、1号館から移設し現在に至る。それに伴い担当部署が学術情報課へ移管された。

【資料の収集・整理・保管】

○収納資料

開設当初は230点であった。現在は在庫整理と確認中だが、平成27年3月現在の時点で約1,600点を収容している。

○収納資料の種別

書類、揮毫、冊子、写真、動画、絵画、掛け軸、現物など歴史や歴史上の人物に関わる資料が多岐にわたっている。事務書類の保管は専門のアーカイブズで対応すべきであるが、これは将来の課題として止める。

○収集の基準やルール

明確な基準やルールはない。担当者の判断で保存が適当であると判断されたものが収容されている。今後国会図書館の「納本」方式で、毎年4月に各部署や学部から非現用資料が自動的に集まるようなルール作りも検討しなければならない。



○収集

学内で保存されているもので、現場での使用終了物を収取している。過去のイベントでは当時の学生（卒業生）から資料の提供を依頼している。現在はアジアハイウェイ学術踏査隊の資料を収集し整理、分類を行っている。

○整理・分類

整理・分類は体系的な基準作りが必要で今後の検討になる。検索を可能にするため、整理資料へ登録番号を付番してデータベースを作成中である。管理台帳の作成も急務である。

○専用保管庫

展示室のバックヤードや展示台の下に収容スペースで保管している。平成27年度からアジアプラザの地下に書庫が開設されたのを機に展示室の保管スペースを設けた。

○展示上の課題

展示テーマを明確にし、デジタル展示の方法も導入を図る必要がある。ハード面では防犯カメラの充実、湿度・温度の調節のためのエアコンの常時稼働、さらに太陽光の差し込みによる資料の劣化を防ぐための遮光処理などがあげられる。

**【公開展示、活用】****○自校史を知る資料として活用できるか**

本学では自校史・自校教育科目が存在しないので、自校教育の資料としては成り立たない。学生にとっても、展示内容の明確なメッセージが弱いので、そこから得るものが少ない状態である。

入学式、卒業式、学園祭中のホームカミングデーで訪れる父母や卒業生が展示室を見学され、感想ノートに記入されている。また、海外からの来客、企業関係者が見学される。

京都大学の大学文書館の西山教授によると、展示室を一番利用しないのが学生であることから、自校史を知る効果測定は難しい。

○学術リポジトリとの連携

学園史展示室からの掲載の働きかけはまだないが、図書館のリポジトリ担当者が掲載に相当であると判断したものを掲載している。今後、展示室の公開と併せて検討していく必要がある。

【管理・運営】

○学術情報部学術情報課(図書館)の管轄になる。

○関連規定の整備

学術情報課の事務分掌事項に「学園史展示室に関すること」とあり、細かな規定はない。大東文化大学にはしっかりと「大東文化歴史資料館(大東アーカイブズ) 規定」があり、今後本学でも展示室業務の基本となる規定の整備が必要である。

○意思決定としての「運営委員会」

図書館には図書館運営委員会があり、そこでは学術リポジトリの管理運営も兼務している。しかし、学園史展示室の管理運営のための委員会は存在していない。今後収集、保管、展示、破棄などで合議制をとるため委員会は設ける必要がある。

○展示室の紹介パンフレット

展示室の広報、展示の告知のためにも必要である。

【学園史展示室を考える会】

学園史展示室の現状認識と今後の在り方を検討するアドホックな会合を26年度に立ち上げ検討を行った。現在は、展示室の棚卸を優先している関係で、具体的な活動はない。

○検討会議の開催実績

■平成26年2月4日 15:00~16:00

プレゼンⅡ

■平成26年2月18日 15:30~16:30

プレゼンⅡ

■平成26年3月13日 15:00~ 館長室
活用チーム

■平成26年3月25日 15:00~16:00

青々会A 保存チーム

■平成26年6月23日 14:00~16:00

プレゼンⅡ

会のメンバー構成(平成26年2月現在)

宇田川 裕	学術情報部長	統括
坪内みゆき	学術情報課長	活用・保存チーム
加藤 幸雄	学術情報課員	保存チーム
八田 浩康	地域交流課長	保存チーム
柿内 利宏	総務課長	保存チーム
千葉 克之	管財課長	活用チーム
布施 秀樹	広報課長	保存チーム
三澤 勝	秘書課員	活用チーム
中村 正和	情報システム課員	活用チーム
小林 勉	総務課員	活用チーム
金子 泉	総務課員	保存チーム

以上



図書館防災マニュアル改定版

【作成経緯】

平成23年3月11日に発生した東日本大震災で、図書館は配架本の落下、書架の倒壊、新聞保存ラックの倒壊などの被害を被った。授業期間外で利用者数も少なく、人的被害は発生しなかった。これが授業期間中であつたならば被害は拡大したことが予想される。

大学には防災体制が整備されているが、図書館に限ってみれば具体的な避難マニュアルは設定されていなかった。東日本大震災を契機に平成23年5月に「太田耕造記念館避難誘導マニュアル」を作成した。

その後開館の状況別に、以下の3種を作成した。

- (1) 平日昼間用
- (2) 平日夜間用
- (3) 土曜日・特別開館用

さらに、「地震収束後の対応」「太田耕造記念館の対応」を作成し学術情報部職員に配布しブリーフィングを実施した。

【改訂版作成】

平成23年度版は地震収束後、3号館裏空地（現5号館）へ避難するように大学防災委員会からの指示があり、避難先への誘導を行うことになっていた。

平成25年に新5号館が竣工し、避難場所として使うことができなくなった。大学防災委員会から正式な文書で避難先等の指示はなかった。口頭での確認では建物内に留まり、その後は大学からの指示を待つことになった。

それを受けて、23年度版の館外誘導から、館内待機に内容の一部を変更した25年度震災対応マニュアルを作成した。防災グッズを使用する項目を設けたが、予算が認められなかったため、今後の検討になっている。

中学生職場体験

昨年度に引き続き、近隣の中学校に在籍する生徒の職場体験を受け入れた。

この職場体験は、実際の職場で仕事を体験することを通して将来の職業選択に役立てることを目的としたものである。本学図書館が26年度に受け入れたのは、4校14名で内訳は次のとおり。

- ・武蔵野市立第二中学校2年生4名
(平成26.5.20～21)
- ・小金井市立第二中学校2年生3名
(平成26.11.6～7)
- ・東京都立武蔵高校附属中学校2年生4名
(平成26.11.11～12)
- ・小金井市立緑中学校1年生3名
(平成27.1.21～22)



補助金採択資料一覧（過去 10 年分）

No.	年度	資料名	推薦学部	概要
1	2005	「オックスフォード英国人名辞典」 全60巻 Oxford Dictionary of National Biography	法学部 国際関係学部	紀元前4世紀から2000年没の人物50,000名を収録し、肖像画等も掲載 オックスフォード大学研究プロジェクト
2	2006	「冷戦・ポスト冷戦期世界の戦略と国際関係: Adelphi Papers復刻集(全54巻) Strategic and International Relations in the Cold War and Post Cold War Worlds:40 Years of the Adelphi Papers	法学部 国際関係学部	Adelphi Papersの創刊号(1961年)以降の40年分を、テーマ別の製本版として復刻。「軍備管理と軍縮」「冷戦期の東西関係」「核戦争と抑止」「石油と安全保障」などのトピックごとの巻に、「アメリカ対外政策」「中国」「日本」「中東の政治と紛争」などの地域ごとの巻も含む。
3	2012	「アメリカ外交政策極秘文書シリーズ」 Digital National Security Archive(NSA).Online 恒久アクセスライセンス 資産図書扱い	国際関係学部	20世紀後半の米国外交・安全保障政策に関する貴重な公文書類を、重要テーマごとに編集した一次資料コレクション群。非営利団体 The National Security Archive(NSA) が情報公開法に基づいて体系的に公開請求を行って原資料を入手し、研究者や元政府要人等から成る専門家チームによる整理編集を経て順次コレクション化された資料である。
4	2013	Journal of Cultural Economics. Vols. 1-35. Norwell, 1977-2011. Reprint. Bound. 文化経済学(リプリント版)	経済学部	本資料は1975年に「文化経済学会」(Association for Cultural Economics)を立ち上げたヘンドン教授の創刊により、同学会の機関紙として、また文化経済学の分野における唯一の学術誌として、大きな役割を果たしている。
5	2013	TAXATION & ECONOMIC REFORM IN AMERICA A Historical Archive, 1781-2011 Part I & II 米国税制・経済改革オンラインデータベース	経済学部 法学部	アメリカの税制改革・経済政策に関する18世紀後半から現在までの制定立法資料を電子化したものである。合衆国銀行の成立過程に関する資料から2008年のリーマン・ショックを契機に起きた金融危機に関する立法制定資料までを含む膨大なもので、米国税制・財政、経済政策研究にとって必要不可欠な重要資料群が集積されている。
6	2013	新訂増補 国史大系 NetLibrary版 第二期: 律・令義解〜続徳川実紀(32冊) 第三期: 公卿補任〜尊卑分脈(11冊) * 第一期は購入済み	経営学部 法学部	昭和4年(1929年)に刊行が開始され、同39年に完結した56書目、4万6千ページにおよぶ膨大な叢書。六国史以下の史書や物語などの古典籍を収録するところから、日本史や日本文学を学ぶ者にとって、欠くことのできない基礎史料となっている。
7	2014	ProQuest Historical Newspapers: Chinese Newspapers Collection (1832-1953) オンライン版 中国 英字新聞コレクション	経営学部 法学部 国際関係学部	中国で刊行された歴史的な英字新聞・雑誌12タイトルを提供する。清朝終わりから、アヘン戦争、太平天国の乱、義和団事変、辛亥革命、そして中華民国設立、のちには日中戦争、第二次世界大戦にいたる中国の政治経済社会の諸相を外国人の目を通してつぶさに伝えている貴重な資料であり非常に有効な基礎資料となりえる。





オンラインデータベースの動向

◇新規 DB

- ・雑誌記事索引集成 DB「ざっさくプラス」

皓星社刊行の『明治・大正・昭和前期 雑誌記事索引集成』120 巻を基に作成された、「MAGAZINE PLUS」の空白期間を埋める明治期から現在までに日本国内で刊行された雑誌記事検索の国内最大級のデータベース。特に明治期のデータを重点収載し、昭和 22 年までの雑誌記事に威力を発揮する。他に掲載 DB として NDL「雑誌記事索引（1948～2013

*但し以後掲載されている CiNii で検索可）」「地方史文献年鑑」「地方史雑誌文献目録」「日本史文献年鑑」からの収載等、総合雑誌など、全国誌から地方誌までの 1, 494 万件の記事が検索できる。検索時 CiNii 連携を利用すると「CiNii Articles」や「機関リポジトリ」で全文公開のものへのワンクリックでリンク有。＜一部原文リンク＞ 4 月開始

- ・オンライン版「中国英字新聞コレクション/ ProQuest Historical Newspapers Chinese Newspapers Collection (1832-1953)」 (ProQuest、OPAC)

中国で刊行された歴史的な英字新聞・雑誌 12 タイトルを提供。およそ 120 年間の政治、社会を明らかにする中国近代史の資料。清朝が終わりを告げるこの時代、アヘン戦争、太平天国の乱、義和団事変を経て、1911 年には辛亥革命が起こり、中華民国が成立する。ここに収録される資料は、外国人の目を通して同時代の出来事をつぶさに伝えるものである。また、日中戦争から第二次世界大戦にいたる日本と中国との関係についての貴重な資料でもある。法学・経済学部希望・助成金 8 月開始
＜特徴＞

- * 中国の貴重な英文歴史資料をデジタル化

* 記事のみならず、広告、論説、挿絵といった部分まで閲覧・検索が可能

＜収録タイトル（12 タイトル）＞

1. North China Herald (1850-1941) 上海初の英字新聞。上海工部局の議事・判例等も掲載
2. The China Press (1925-1938)
3. China Critic (1939-1946)
4. China Weekly Review (1917-1953) 上海の英文時事論説誌
5. Chinese Recorder (1868-1940) プロテスタント宣教雑誌
6. Chinese Repository (1832-1851) プロテスタント宣教雑誌
7. Peking Daily News (1914-1917)
8. Peking Gazette (1915-1917)
9. Peking Leader (1918-1919)
10. Shanghai Times (1914-1921)
11. Shanghai Gazette (1919-1921)
12. Canton Times (1919-1920)

◇追加 DB（有料）

- ・「Digital National Security Archive (DNSA)」

アメリカ外交政策極秘文書シリーズデータベースは下記コレクションを追加購入し、合計 43 シリーズとなる。

3 月 (ProQuest、単独 DB でも入口を用意、OPAC)

■CIA Covert Operations: From Carter to Obama, 1977-2010 (CIA 極秘作戦)

■Mexico-United States Counternarcotics Policy, 1969-2013 (メキシコ)

■The United States and the Two Koreas Part II, 1969-2010 (南北朝鮮・2)

■The Kissinger Conversations, Supplement: A Verbatim Record of U.S. Diplomacy, 1969-1977



(The Kissinger Conversations, Supplement)
(キッシンジャー・カンパセーション・サブリメント)

■Electronic Surveillance and the National Security Agency: From Shamrock to Snowden (電子監視)

◇追加 DB (無料)

- ・ 米国最大級の博士論文目録データベース
「 American Doctoral Dissertations 1933-1955」(EBSCOhost)

概要：1933 年～1955 年の間にアメリカの大学で受理された 100,000 件にのぼる博士論文を収録。この時期の博士論文の目録としては唯一にして最大規模の情報源。通常のキーワードによる検索のほか、博士論文のタイトル、著者、および学校名を用いて検索することも可能。10 月開始

◇DB 名称変更

- ・「ジャパンナレッジ・プラス」→「ジャパンナレッジ・Lib」4 月に変更

◇追加 DVD

- ・ 専用単独「法律 PC」に**最新版主要法律雑誌・図書 DVD** (原文 PDF)

提供場所：図書館 6F 法律 PC コーナー

「ジュリスト」「論究ジュリスト」「金融商事法務」「労働判例」「判例タイムズ」「金融法務事情」「銀行法務 21」「最高裁判所判例解説」は創刊号～2013 年刊行分まで、「法学教室」は創刊号～2011 年までを、「判例百選 (ジュリスト別冊)」は創刊号～2012 年までの 225 冊に加えて、各年度の「重要判例解説」44 冊、「基本判例解説シリーズ」13 冊、「基本判例シリーズ」5 冊、「担保法の判例 I・II」2 冊、「単行シリーズ」の合計 290 冊、31,000 件以上の判例解説を収録したもの。

*「法と民主主義」は他の DVD と違い、全て画像 PDF ファイルのため、文字列による検索はできない。「INDEX. pdf」に記載された目次などを手掛かりにして目的のページを探し、利用する。

◇追加 eBook

洋図書 28 冊 (タイトル省略)
(EBSCOhost、OPAC)



逐次刊行物チーム

業務体制

2014.4～9 4人体制+社会人バイト

佐々木、江野、木野村、田村、佐々木梢

2014.10～2015.3 3人体制+社会人バイト

田村、江野、木野村、佐々木梢

兼務業務

◇オリエンテーション・ガイダンス (江野)

◇職場体験(中学生受入) (江野・木野村)

◇授業補助(図書館総合演習) 安形先生
(江野・木野村)

◇「Library mail」「Library Notes」 (江野)

◇図書館貸出日・冊数設定 (江野)

◇機関リポジトリ (木野村)

◇図書館 HP (木野村)

◇食堂棟地下書庫打合せ (木野村)

◇サインエージ受付・作業 (木野村)

◇AUAP 研修事前説明会 (木野村)

◇図書選書委員 (江野・田村)

◇蔵書点検・残務処理 (田村)

◇年度末図書移動 (江野・田村)

◇食堂棟移動図書選定・計画 (江野・田村)

主な出来事

2013年にOPAC表示の所在による分割を実施し、フロア毎に所蔵年と所蔵巻号が明確になった。今年度は紀要の所在を分割し、OPAC表示に反映をさせた。

中学生を受入れる職場体験は、今年度は4校、延べ14名の生徒さんが、図書の配架や雑誌の受入、カウンター業務の一躍を担い、2日間担当業務に就いていた。

図書館総合演習(長田教授)の授業補助では、13名の学生と6週に渡る授業を受け持った。図書と雑誌チームで分担し、雑誌は、購入から発注、受入や配架・保存までの流れの説明をする。書誌・所蔵のについては、NII(国立情報学研究所)のデ

タの取り込みやOPACへの反映等の説明を行う。実習では図書館システム(LIMEDIO)での雑誌受入や新聞の配架業務を実施した。

新規和雑誌(雑誌名 学部/希望者)

- ・「企業リスク」季刊誌 (経営/大島)
- ・「ロシアNIS調査月報」月刊 (国関/永綱)
- ・「ロシア・ユーラシアの経済と社会」月刊 (国関/永綱)
- ・「販促会議」月刊 (学生/田中)
- ・「ガバナンス」月刊 (法学/平井)
- ・「日経グローバル」月2回刊 (法学/平井)
- ・「地方自治職員研修」月刊 (法学/平井)
- ・「Forbes JAPAN」月刊 (図書館)
- ・「週刊新潮」週刊 (法学/東中野)

新規洋雑誌(バックナンバー)

- ・「Journal of cultural economics(Reprint ed)」
/Germantown,N.Y.(Springer)
1-35(1977-2011) 文部科学省からの助成金
での購入。(極東書店)

購読中止する和雑誌

- ・税経セミナー (58-10)(2013.9) 終刊
- ・創業家 (2013-12) 終刊
- ・大学野球熱闘史 (2-16)(2013.9) 終刊
- ・家庭裁判月報 (65-8)(2014-3) 終刊

購読中止する洋雑誌

<判例・法令>

- ・West's federal reporter
- ・West's federal reporter supplement
- ・West's Supreme Court reporter
- ・West's Supreme Court reporter (interim edition)

<物理学関係>

- ・Physical review. Third series
- ・Physical review letters

以上



受入データチーム

業務体制

2014.4～2014.9 3人体制

大石・江野・川北

2014.10～2015.3 4人体制

大石・熊谷・鷹取・藤懸

定例会について

紀伊国屋書店に業務委託をしている関係で、2か月に1回、担当者とデータチームで定例会を開いて情報共有を図っている。定例会で今年度決定した主な内容は以下の通りである。

- ・今年度年間納品回数は43回に決まった。
- ・「教員著作」「寄贈図書」の装備のみは、プロセッシングセンターに送らず、自館で整理することになった。
- ・夏季期間（8/4～9/19）1Fカウンター及び4Fカウンター業務内容を変更した。

○中村・山口（月～金）

8:45～9:45 シェルフ

9:45～13:00 1Fカウンター

13:00～14:00 休憩

14:00～16:45 4Fカウンター

○小石（水）・井塚（木）・稲葉（金）

9:00～12:00 通常業務

12:00～13:00 昼休憩

13:00～16:30 1Fカウンター

16:30～17:00 通常業務

- ・自動選書（見計い）分で、NCデータのヒット率が低い。（参考：2013年度ヒット率34%）
→ノーヒット分は、2週間後に再検索を行うことにする。（結果：90%以上）
- ・2015年度完成予定の新学生食堂地下に書庫を新設予定で、30,000冊～40,000冊の資料を移設する。
- ・図書「グローバル化と子どもの社会

化」（学文社）（資料ID：11222122）は、出版社より、個人情報の問題が有った為、返品差替えの依頼の手紙が届く。当資料を除籍し、新たな図書を経常図書受入れとした。

- ・ウィークリー以外の選書資料などで発注する際は、「発注先」「予算コード」「発注登録者」を発注資料に明記することになった。

- ・大型本について

6F一般図書の書架の高さが28cmとなっていて、現状A4の大きさの図書が入らず、横倒しで配架している。→大判図書（大きさ32×24cm）の基準は見直さず、現行の基準で今後も運用していくことを確認した。

寄贈図書について

平成26年度に個人、各大学、企業等より寄贈のあった図書243冊を受入れた。

平成25年度除籍図書リスト（資産分）の内訳について

図書館では例年（※）非資産図書も含め3,000～4,000冊の本の除籍作業を行っている。

除籍対象となるのは、紛失した資料のデータ（3年前インベントリー紛失分、学生紛失等）、重複している資料、使用に耐えないと考えられる資料等である。

退職された教員の研究室の戻り分、旧資料室の資料は、重複がなく図書館で必要と思われるものを受入れ、これに該当しないものは除籍した。

平成26年度除籍（資産分）図書（視聴覚資料含む）は、

和書	2,320冊
洋書	647冊

金額(定価合計)は10,867,312円となった。

以上

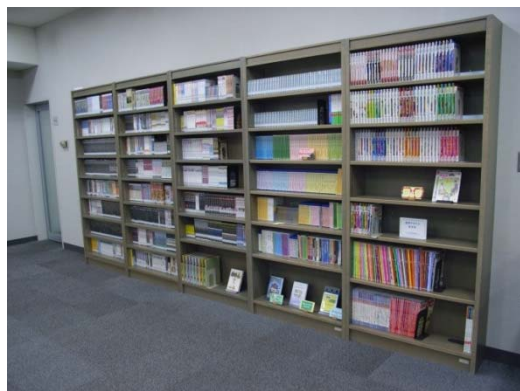


図書館の工事

4 階木製書架増設工事

平成26年5月に4階フロア西側にキャリア教育及び語学教育教材保管の為の書架を増設した。

これにより視聴覚教材等の展示スペースの拡大が図られた。



1 階エントランスドア自動化工事及び8 階外壁工事

平成27年3月に1階エントランスドアの自動化工事をおこない、今まで手動式の重いドアであったが快適なドアとなった。また、8階外壁の補修工事が行われた。



1 階職員通用口と8 階貴重書室及び展示室の監視カメラ設置工事

平成27年3月に1階職員通用口と8階貴重書室及び展示室の監視カメラ設置工事を行った。これにより旧システムの経年による劣化損傷による監視体制に不具合が生じていた点が是正され、盗難や事故を未然に防ぐことが出来、利用者の安全性が確保された。



プレゼンテーションルームⅡの改修工事

平成27年3月にプロジェクター等の経年劣化に伴い、映り込みが悪くなっていた電子黒板の改修工事を実施した。

また、授業で需要の高かったプレゼンテーションルームⅢの運用管理の所管は図書館から教学センターへ移管された。





プレゼンテーションルーム施設一覧

プレゼン番号	収容人数	黒板・白板	机・椅子	遮光ブラインド	マイク設備	VHSビデオ	DVD/CDプレイヤー	ブルーレイ	カセットデッキ	液晶プロジェクター	常設パソコン	電子黒板	持込パソコン入力端子	CATV	教材提示装置	有線LAN	ワイヤレスLAN
I	最大50名 常設42名	白	移動	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○
II	44名	白	移動	○	×	×	○	○	×	○	○	○	○	×	○	○	○



新しく改修されたプレゼンテーションルームⅡ



平成 26 年度 図書館運営委員会 議題一覧

第 1 回図書館運営委員会

開催日時：4 月 22 日（火）17：50～19：29

出席者：長田、猪原、佐藤（知）、前川、荒井、
宇田川、坪内、記 録：安田配付資料：「平成 26 年度図書館運営委員会名簿・出
講曜日一覧」「今後の教育・学習支援への取り組み（長
田秀一）」

「図書館サービスに関するアンケート」

「平成 26 年度図書館開館カレンダー（地
域対応）と 3 月 6 日現在」

「平成 25 年度大型図書資料購入希望一覧」

「平成 26 年度図書資料費 配分内訳表・
平成 26 年度図書予算」

長田館長から、館長就任の挨拶並びに運営委員会
メンバーの紹介があり、配付資料：「今後の教育・学
習支援への取り組み（長田秀一）」を基に詳細な説明
と「図書館サービスに関するアンケート」の実施に
ついて報告があった。なお、アンケートについては
次回に成案を提出する。

〔審議事項〕

1. 運営委員会の開催日程について
2. 図書館カレンダー（地域開放）について

〔報告事項〕

1. 2・3・4 階フロアの改修について
2. 夏季工事について
3. 大型図書資料の購入について
4. 予算について
5. 運営委員会について

以上

第 2 回図書館運営委員会

開催日時：5 月 27 日（火）18：00～19：14

出席者：長田、猪原、佐藤（知）、前川、荒井、
宇田川、坪内、記 録：安田

配付資料：「図書館サービスに関するアンケート」

〔審議事項〕

1. 図書館利用者アンケートの実施について

〔報告事項〕

1. 2・3 階のアンケートについて
2. 2・3 階の利用状況について

3. アジア研究所叢書の電子化について
4. MOOC について
5. 継続雑誌の購入について
6. ビブリオバトルについて
7. 初年度教育図書について

以上

第 3 回図書館運営委員会

開催日時：6 月 24 日（火）17：54～19：13

出席者：長田、猪原、佐藤（知）、前川、荒井、
宇田川、坪内、記 録：安田配付資料：「図書館利用者アンケート（自由記述欄）
途中経過」

「平成 25 年度図書館利用状況表」

「新入生へのお薦め本」

〔報告事項〕

1. 図書館利用者アンケートの中間報告について
2. 学術リポジトリの博士論文の取り扱いについて
3. 新食堂棟の地下書庫について
4. 平成 25 年度の図書館利用状況について
5. 新入生へのお薦め本について
6. その他

以上

第 4 回図書館運営委員会

開催日時：7 月 22 日（火）17：58～19：00

出席者：長田、石塚、猪原、佐藤（知）、前川、
荒井、宇田川、坪内、記 録：安田配付資料：「VHS から DVD へのダビングにつきま
して（提案）」「LIBRARY CALENDAR 2014 8
月～10 月」「学内各所工事に伴う迂回ルートについて
（ご案内）」

開会に先だち長田館長から運営委員の交代につい
て報告があった。

〔審議事項〕

1. 「亜細亜大学課程教育研究紀要」と「アジア研究
所所報」の学術リポジトリの公開について

2. その他

〔報告事項〕

1. 補助金採択について



2. 地域中高生への図書館公開について
3. 夏季工事日程について
4. 図書館利用アンケートの現在について
5. 図書館年報について
6. 新規雑誌の購読について
7. その他

以上

第5回図書館運営委員会

開催日時：9月30日（火）17：50～19：50

出席者：長田、石塚、猪原、佐藤（知）、前川、
荒井、宇田川、坪内、記録：安田

配付資料：「国立国会図書館デジタル化資料送信サービスを利用するための手続きについて」
「図書館利用規程新旧対照表」
「第7章 デジタル化資料送信サービス」
「平成25年度 図書館年報」
「図書館サービスに関するアンケート結果」
「アンケート当選者」

〔審議事項〕

1. 図書館利用規程の変更について

〔報告事項〕

1. 夏季の利用状況について
2. 次年度予算について
3. 図書館年報について
4. アンケートの結果について
5. 人事異動について
6. 卒後生の利用者登録について
7. その他

以上

第6回図書館運営委員会

開催日時：10月28日（火）17：50～18：17

出席者：長田、石塚、猪原、佐藤（知）、前川、
荒井、市川、坪内、記録：安田

配付資料：「新入生のお薦め本」

開会に先立ち長田館長から、市川学術情報部長の紹介と7月1日付で委嘱された経営学部石塚図書委員の紹介があった。

〔審議事項〕

1. 新入生のお薦め本コーナーの設置について
2. 来年度予算について

〔報告事項〕

1. 利用者アンケートに基づく開館及び閉館時間の利用調査について
2. 図書館利用規程の改正について
3. 洋雑誌の高騰について
4. その他

以上

第7回図書館運営委員会

開催日時：11月25日（火）17：50～18：38

出席者：長田、石塚、猪原、佐藤（知）、前川、
荒井、市川、坪内、記録：安田

配付資料：「利用者アンケートの結果」

「平成25年度学術情報基盤実態調査結果（抜粋）」

「平成26年度図書館カレンダー」

「亜細亜大学図書館時間別入退館者数分布図（4月～7月）」

「図書館利用規程新旧対照表」

〔審議事項〕

1. 図書館利用者アンケートの要望による開館時間について

〔報告事項〕

2. 図書館利用規程（複写）の改正について
3. 次回の図書館運営委員会の開催日について

以上

第8回図書館運営委員会

開催日時：1月20日（火）12：10～12：40

出席者：長田、石塚、猪原、佐藤（知）、前川、
荒井、市川、坪内、記録：安田

配付資料：「平成27年度の図書館カレンダー」

「新入生へのお薦め本コーナーの利用」

〔審議事項〕

1. 平成27年度の図書館カレンダーについて

〔報告事項〕

1. 新入生へのお薦め本コーナーの利用について
2. 学部資料室所蔵の資料確認について

以上



平成26年度学術情報部 業務目標

国策で推進するクールジャパン戦略のもとで変革されていく日本の産業構造の変化に追随して、世界を視野に活躍する有能なグローバル人材の育成を支援するための教育支援を重点目標とする。

急速に普及するタブレット端末やスマートフォンに代表される機器等を活用したユビキタスネットワーク環境下での教育支援サービス展開を踏まえて、学内の教育・研究環境の適時な改善を実施する。

企業、大学等の団体からの ICT 関連の情報収集を不断に行い、より合理的な導入、利用方法を考慮して、新規に建設される構造物にも、充実したハード、ソフト、コンテンツ等のサービスの提供を実現できるよう、以下のような重点目標を設定する。

重点目標に沿って、学術情報課と情報システム課の目標達成実施項目を設定し、確実に目標を達成する。

アジアグローバル人材育成の支援環境の整備

クールジャパンを推進するグローバル人材の育成を支援するために必要な、教育現場での ICT 環境の整備充実を行う。卒業後の実社会でビジネスをリードする人材候補を輩出するために必要不可欠である、語学、ビジネス、マネジメント、IT などのスキルアップを促す諸施策を講じて、有能な人材育成を支援する。

また、グローバル人材の育成の基礎となる初年次教育の一環として、亜細亜大学設立からの学園史と関係資料を電子コンテンツ化して整理し、学園展示室を有効活用するための整備を行って、建学精神「自助協力」にかかわる自校教育の体系化に向けた準備を行う。

学習サポート体制の向上等教育支援の充実

授業改善にあたり、リプレイスする教学関係システムと LMS を教育支援ツールとして有効活用で

きるよう対策する。LMS の利用支援を軸にした授業内容の改編を積極的に支援し、昨年度末にリニューアルされた太田記念館2・3・4階のラーニングコモンズ、アクティブラーニングフロアのサービス向上と利用支援を充実する。これにより、図書館施設、サービスを活用したラーニングサポート、ライティングサポート、オペレーティングサポート等のヘルプデスクとしての機能を高める。この運用でノウハウを掌握し、漸次学生・教学部門が運用する食堂棟でのサービス定着を支援する。合わせて、リニューアルされたフロア施設を地域の青少年に開放する施策を実施して、調べ学習、キャリア学習の一環として活用してもらえよう対応する。

防災対策と次世代 ICT 環境への対応準備

震災等の被害を最小限にするための BCP 事業継続計画の実施プランを順次実行し、学園全体として複数年計画で主要業務サーバの移転等を実施する。また、この BCP の運用や ICT リソースを有効に活用していくため、セキュリティポリシー、ガバナンス、コンプライアンス等の策定・運用及び関係法令の知識について再度確認を実行する。次世代 ICT 環境の対応準備として、クラウド導入・運用に関するメリット、デメリット、リスクの状況を適切に判断するための情報収集を行う。これにより業務改善を指導・推進してできる管理スキルを修得して、危機管理を徹底する。

以上

平成26年度学術情報課目標達成度実施項目**1) アジアグローバル人材育成に向けた学修・学習支援体制強化**

＊情報システム課と協働しながらのラーニングコモンズ、オープン PC フロアの運用体制の確立を行う。

＊教員インタビューにより、各学部学科の動向



を把握し、資料やガイダンスを充実させる。

＊ユニバーサルデザインを意識した環境整備
を行い、誰でもが使いやすい図書館を目指す。

＊地域青少年への学習支援環境の提供を行う
ことで地域連携強化の一端を担う。

＊初年次教育に関わる亜細亜大学史関係資料
の保存と公開を行うため、資料収集・整理、コ
ンテンツ作成の準備を行う。

2) 図書館員としての質向上

＊専門性を高めるための外部研修等への積極
的な参加を推進し、そのフィードバックが課全
体のスキルアップとなるようにする。

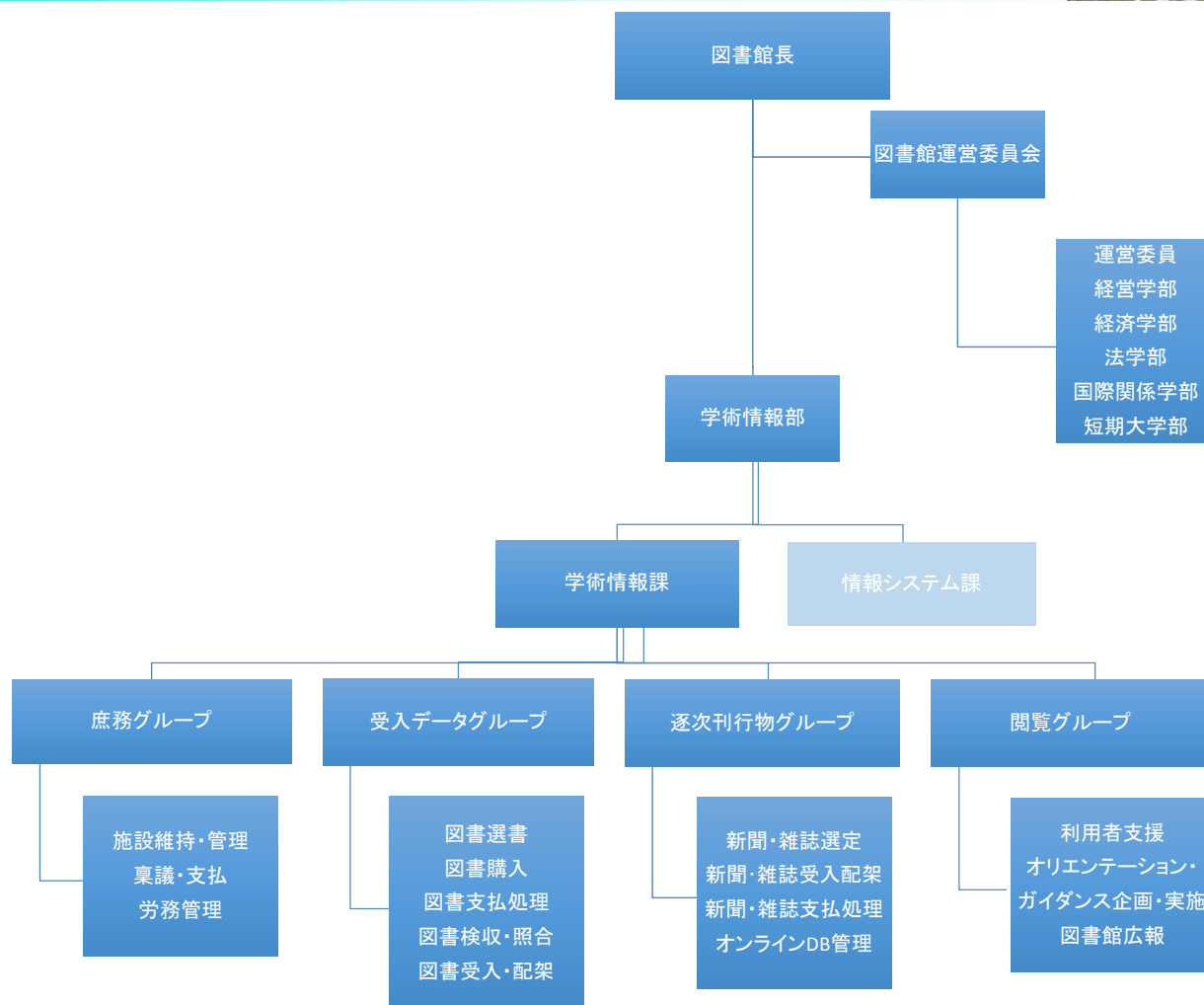
＊傾聴・接遇姿勢を意識し、サービス機関とし
て積極的な利用者支援を行う。

3) 図書館防災対策

＊大学全体の防災対策と図書館内の防火・防災
対応マニュアルとの整合性をはかり、安心・安
全な図書館運営を行う。

＊26年度は次世代図書館システムの検討準備
期間として位置づけ、情報収集に努める。

以上



平成 26 年度 図書館運営委員会 運営委員一覧	
図書館長 長田 秀一 法学部教授	
経営学部	山田方敏 教授 (H26. 6. 30 免) / 石塚隆男 准教授 (H26. 7. 1 任)
経済学部	猪原 龍介 准教授
法学部	佐藤 知乃 講師
国際関係学部	前川 輝光 教授
短大	荒井 紀子 准教授

平成 25 年度人事異動				
月 日	内容	氏 名	異動後	異動前
10 月 1 日	所属異動	宇田川 裕	国際交流センター部長	学術情報部学術情報部長
10 月 1 日	所属異動	市川 隆幸	学術情報部長	キャリアセンター部長
10 月 1 日	所属異動	熊谷 香織	学術情報課	教学課
10 月 1 日	所属異動	鷹取 知花	学術情報課	教学課



平成26年度		研修会名	場所	出席者
月	日			
4	22	専門図書館協会ICタグセミナー	日本図書館協会	藤懸
5	24～25	私大連アドミニストレーター研修	クロス・ウェーブ船橋	藤懸
6	3 4	私立大学経常費補助金説明会	文京学院大学仁愛ホール	木野村 坪内
	12	東京西地区情報交換会	国立音楽大学	宇田川・坪内・川北
	14	私立大学図書館協会東地区部会 総会・研究講演会	成蹊大学	宇田川・木野村・坪内
	23～25	私大連キャリアデベロップメント研修	福岡シーホーク	川北
	28～29	私大連アドミニストレーター研修	クロス・ウェーブ梅田	藤懸
7	4	第10回学術情報ソリューションセミナー2014	日本橋三井ホール	佐々木
	4	国際電子出版EXPO	東京ビッグサイト	藤懸
	4	日本能率協会『就職支援に役立つデータベースセミナー』	プロネクスサスセミナールーム(浜松町)	長谷川・藤懸
	6	国立国会図書館講演会 『子供の探究活動図書館の可能性』	国際こども図書館	江野・藤懸
	8～9	専門図書館研究会	機械振興会館(港区)	木野村
	11	JMOOCワークショップ	明治大学紫紺館	宇田川・坪内
	12	私大連フォーラム	名古屋学院大学	宇田川
	16 17	オフィス防災／オフィスセキュリティ EXPO	東京ビッグサイト	安田 加藤
	24	リコーLimedioセミナー	恵比寿 ウェスティンホテル	坪内・藤懸・木野村
	25	丸善アカデミックソリューションセミナー	千代田区立日比谷図書館	藤懸・木野村
8	6～8	私大連アドミニストレーター研修	アルカディア市ヶ谷(私学会館)	藤懸
	20～22	私大連キャリアデベロップメント研修	永田町	川北
	26	東京西地区サマーセミナー	東京経済大学	宇田川・坪内
	27～29	私立大学図書館協会総会(前泊)・研究大会	岡山理科大学	館長・藤懸・坪内
9	7～14	洋上大学研修同行	インドネシア	藤懸
	10 11	大学図書館コンソーシアム連合(JUSTICE)版元提案説明会	学術総合センター一橋講堂	坪内 佐々木
	12	IBMセミナー	芝公園 プリンスタワー	宇田川
10	11～12	私大連アドミニストレーター研修	クロス・ウェーブ梅田	藤懸
	16	危機管理産業展	東京ビッグサイト	加藤
	16	紀伊國屋書店講演会	アルカディア市ヶ谷	市川
	27～11/1	AUAP視察	アメリカ ワシントン州 セントラル・ワシントン大学	木野村
	31～11/1	日本図書館協会全国大会	明治大学	市川・坪内・熊谷・藤懸
11	5 6 7	第16回図書館総合展	パシフィコ横浜	市川・長谷川・鷹取 木野村 田村・熊谷・藤懸
	18	CS研技術講習会業務活用講座	富士通トラステッドスクエア(浜松町)	安田・坪内
	20	東京西地区秋セミナー	明星大学	木野村
12	4	カウンセリングセンター講演	学内 542教室	鷹取
	5～6	私大連アドミニストレーター研修	クロス・ウェーブ幕張	藤懸
	5	NRAフォーラム	ベルサール飯田橋	熊谷
	11～12	NII学術情報ウェブサービス研修	国立情報学研究所(竹橋)	木野村
2	19～20	法令議会官庁資料研修	国立国会図書館	長谷川
	23	大学図書館コンソーシアム連合(JUSTICE)総会	国立情報学研究所(竹橋)	木野村
3	5	図書館総合展 教育・学術情報オープンサミット	日比谷図書文化館	市川



司書講習に参加して

学術情報課 木野村和人

I 司書講習概要

1. 目的：図書館業務遂行能力向上・図書館員としての基礎知識の習得のため
2. 期間：2014年7月26日（土）～2014年9月18日（木）
3. 場所：亜細亜大学学内
4. 主催：亜細亜大学キャリアセンター・生涯学習課

II 参加報告

1. はじめに

2013年4月に亜細亜学園に奉職をし、初めての配属先は学術情報課（図書館）となった。学生時代に図書館学や司書課程、それに関連する科目を学んだ事が無かった私にとって図書館に勤務をするというのは全く想像が付かないものであった。実際に働き始めてみると学生対応や事務作業を始めとした「大学職員」としての業務についてはそれなりにこなせては行けるのだが、NDCや目録規則を始めとした「図書館的な専門知識」の洗礼を受けることがしばしば出てきた。これは図書館に勤務・もしくは図書館学を学んでいない者にとっては全く馴染みのない（触れる機会すらない）ことではあるが、逆にこれを知らない図書館員は図書館員にあらず、というくらいの必須知識である。

そこで2014年度の司書講習の参加の話を頂き、図書館に勤務するにあたってまずは「人並み」の知識を習得することを個人的な目的とし、参加をさせて頂いた。

2. 亜細亜大学司書講習について

亜細亜大学司書講習は2001年から開催されており、毎年約200名もの応募が殺到し関東随一の規模を誇る。講師陣も亜細亜大学教授を始め、各大学や機関から選りすぐりの講師が参集する。

3. 内容について

講義課目は文部科学省「図書館法施行規則：第一章 図書館に関する科目」に則り次項の科目が開講された。

4. 講習を振り返って

大学を卒業してはや3年、90分間着席をして講義を受けるという生活からは離れていた私にとって2ヶ月間という短期間で図書館司書になるべく連日みっちり講習を受けるというのは少々過酷なものであったが、講義の数々はどれも内容が濃く大変実りのあるものであった。

勿論全ての内容が実務に直結するものではないが、図書館員としての素養を養うようなものであったため、「実務はこなしているけど知識的な土台がない」と引け目を感じていた私にとって図書館での仕事により前向きに取り組める動機付け、自信となった。

NDCなどのテクニカルな知識だけではなく、サービス論、図書館概論や制度・経営論で学習した図書館員としてのこころがけ、大学図書館の位置づけや性格など講習で習得したあらゆることを活かして利用者の利便を図るために尽力していきたい。



■謝辞

連日の猛暑の中、素晴らしい講義をして下さった講師の皆様、手続き等で大変お世話になった亜細亜大学キャリアセンター・生涯学習課の皆様、講習中にお世話になった受講生の皆様また長期に渡る講習の受講を快く送り出して頂いた亜細亜大学学術情報部の皆様に心から深く感謝申し上げます。

科目名	講師名 ※敬称略	講師所属 (2014年司書講習時点)
図書館概論	大谷 康晴	日本女子大学准教授
生涯学習論	服部 英二	国立青少年教育振興機構 国立中央青少年交流の家所長
図書館情報資源概論	野末 俊比古	青山学院大学准教授
図書館制度・経営論	池内 淳	筑波大学准教授
図書館サービス概論	松林 麻実子	筑波大学講師
図書館情報技術論	小野 永貴	千葉大学アカデミック・リンク・センター特任助教
児童サービス論	永田 桂子	亜細亜大学非常勤講師
情報サービス論	國本 千裕	駿河台大学講師
情報資源組織論	長田 秀一	亜細亜大学教授
特別講義 <希望者のみ>	齊藤 洋	亜細亜大学教授・児童文学作家
パソコン研修 <希望者のみ>	長田 秀一	亜細亜大学教授
情報資源組織演習	丹 一信	法政大学兼任講師
<3クラスに分かれて実施>	長谷川 昭子	日本大学非常勤講師
	長田 秀一	亜細亜大学教授
情報サービス演習Ⅰ	江藤 正己	学習院女子大学講師
<3クラスに分かれて実施>	宮田 洋輔	常葉大学短期大学部講師
	中島 玲子	亜細亜大学非常勤講師
情報サービス演習Ⅱ	毛利 和弘	亜細亜大学非常勤講師
<3クラスに分かれて実施>	齊藤 誠一	千葉経済大学短期大学部教授
	桂 まに子	京都女子大学専任講師
図書館基礎特論	大場 博幸	文教大学准教授
	安形 麻理	慶應義塾大学准教授
	袖崎 俊敬	麻布学園図書館司書教諭
	横井 慶子	東京工業大学附属図書館
	橋詰 秋子	国立国会図書館司書
図書館情報資源特論	安達 勉	実践女子学園常務理事・参与
図書・図書館史	大場 博幸	文教大学准教授

以上



AUAPの視察研修

学術情報課 木野村和人

1. 研修の概要

研修先：セントラル・ワシントン大学（アメリカ合衆国・ワシントン州）

期間：平成 26 年 10 月 27 日～11 月 3 日

同行者：広報課 斎藤愛氏

目的：①若手職員の AUAP や現地の生活への理解を深化し、帰国後学生への海外留学のプロモーション・渡航事前研修等へ活かすこと。

②国際感覚や語学能力に磨きを掛けるきっかけとなること。

（今回の研修は語学研修を目的としない。）

2. 研修報告

セントラル・ワシントン大学（以下 CWU）での研修報告を以下に記す。

<A：AUAP 視察>

2014 年度第 2 タームの AUAP を視察した。学食、寮、授業の見学、ダウンタウンの見学、地域交流のアクティビティ参加、IPA 学生との懇談など AUAP 生が現地で行っている留學生活の一部を体験した。見学した授業は文法や会話、アメリカ近代史の授業など科目と扱っているテーマ自体は真新しいものではなかったが、学生達は質問や意見を出し合いかなり積極的な取り組みを見せていた。英語というものを通して政治や文化、社会問題などにも関心を寄せ、学んでいた。しかし、学生達に「日本に帰国してからもモチベーションが維持できそうか」という質問をしたところ日本の授業の多くは講義形式であるため帰国後は恐らく元に戻ってしまうのではないかという意見が返ってきた。と同時に AUAP にでも参加しない限り日常生活を含めて英語を使う機会がなくなるのではないかという事を不安に思っている学生が多数おり、IPA のような制度の導入

（現状では英語話者の留学生が少なく完全に模倣するには難しい）、学外の英語を使用出来るようなイベント、コミュニティの斡旋を求めている。また、授業に関してひとつ興味深い取り組みがあった。CWU 教育学部生と AUAP 生の合同授業を実施しており、AUAP 生は自身の課題やレポートを添削して貰う。とはいえ単に外国人の学生に見てもらおうという機会ではなく CWU 生は ESL(英語を母語としない人)に英語を教育する課程に所属する学生であり、事前に教授法について学び、準備をし、振り返りをするという実践の場として AUAP との授業を「利用している」。こういった相互にメリットのある取り組みでありとても印象深かった。

もう一つ特徴的だったのは Job Fair の存在である。これは AUAP 生が自分自身のポートフォリオを作成し、現地企業の人事担当者相手に模擬就職活動をするという取り組みである。語学力も満足ではないはずの学生が英語を話し、自己アピールをするという AUAP 生にとってはとてもチャレンジな企画である。英語はコミュニケーションの道具であり、それを使って何をするか・表現するかという本質を学生に理解させる良い機会でありそうだ。

<B：CWU 部署・部局訪問>

現地 AUAP 担当スタッフにご手配頂き、私達それぞれが関連する部署・部局へと訪問しお話を伺うことが出来た。

図書館：CWU Library

設備や蔵書の面ではさほど亜細亜大学の図書館と違っている点は無かった。しかし、サービス（学習支援）の面では亜細亜大学・はたまた日本の大学との違いが見られた。現在日本でもレポートの書き方や文章表現を支援するライティング・サポートなどは近年よく見掛けるようになって



てきたのだが、日本ではスタッフの中心は大学院生や教員である。しかし、その役割を CWU では学部生も担っている(GPA3.5 以上)。CWU は元来教育学部が強い大学であるという。そこで教授法を学んだ学部生が下の学年の学生たちにレポートの添削などを実践しているというのだ。また AUAP 生のような留学生に対しては英語のライティング(スペルミスや文法の修正など)を含めたサポートを実施しているが残念ながら利用は少なく、AUAP 生も誰もそのサービスについて知らなかった。

教育支援センター: Multi-Model Learning Education Centre (教育学部付)

教育学部の教員・職員が共同して運営がなされている教育支援を行う部局である。マルチ・モデルとは対面での講義、オンラインでの講義を指す。スチューデント・ポータル(亜細亜大学でいう ACS2+manaba。以下ポータル)の運営・授業の評価、また授業の収録・配信・オンライン講義などを行っている。CWU ではオンライン講義による単位取得を認めており、とりわけ夏季休暇には 60%もの学生がオンライン講義を取得するそうである。(遠方から来る学生が多く、帰省中のためキャンパスへ通学が出来ないため)

3. 総括

AUAP 視察として

過去、自身も留学に行ったことの無い私は正直なところ AUAP、はたまた留学についてそれ程大きな期待はしてはいなかった。語学を習得するには短すぎる期間であるし、就職の場面でも近年は留学に行っている学生が多すぎて強みになるのかどうかという点に疑問を感じていた。しかし実際留学に行っている学生達は意欲的に取り組み、英語という語学の習得のみならず「学習」そのものへのやる気の向上が目に見えた。今回の CWU に留学に行っていた学生は TOEIC のスコアが 400 点程度と決して高い数字ではない。し

かし、この留学を契機として語学、はたまた学習そのものへの関心を寄せ、磨いてゆく者が多数居るのだろうと感じた。また、就職に関しても単なる語学留学とは一線を画す取り組みがあり、後は日本国内に於けるこの経験のアピールの指導を行えば学生にとって十分な武器足りえると感じた。

職員研修として

まず前述のように AUAP (留学) への認識が少し深まったことにより、学生対応に関して向上が見込めるようになった。事前研修会などを担当させて頂く機会もあるため、現地に実際に行っている学生の声を聞いたのも大変大きい。

また、今回の研修は社会人として海外に行く初めての機会となった。さらに行き先が大国アメリカという事で出国前はとても構えてしまっている部分もあったが、いい意味で日本と変わらないものだと感じる事が出来た。アメリカや海外(の人)と聞けば畏怖の対象であり、ある種のコンプレックスがあったが、今回の研修を通じて CWU の職員や先生方と関わる事によって心構えとして自信が付いた。国際交流や留学生派遣に直接的に関わる仕事を現在はいしていないが、グローバルを推進する大学の職員としてこれを契機に精進してゆきたい。

最後に研修へと行かせて下さった、関係部署の皆様、所属部署の皆様に御礼を申し上げます。



AUAP スタッフの方々と



第 75 回 私立大学図書館協会研究大会 『海外研修報告』

藤懸 徳仁

③ 電子書籍について

大学図書館や公共図書館において、電子書籍の貸出や購入についての現状と事例を紹介した。

④ ALA 大会について

毎年行われているアメリカ図書館協会の年次報告大会に参加した。その時の大会の雰囲気や海外の図書館員との交流の様子を報告した。

1. 海外研修報告について

私立大学図書館協会国際協力委員会の事業の 1 つに海外派遣研修（長期研修）がある。同研修参加者は、①研修終了後 3 カ月以内に報告書を提出する ②翌年の私立大学図書館研究大会にて報告する この 2 つの研修成果報告を求められている。8 月に、2014 年度同協会の当番校である岡山理科大学にて、2012 年度に同研修に参加した聖路加国際大学学術情報センター図書館の佐藤晋巨氏と並んで報告を行った。

2. 報告の概要

大会名 第 75 回私立大学図書館協会
総会・研究大会
報告日 2014 年 8 月 28 日（木）
時 間 10：10～10：40
会 場 岡山県 岡山理科大学

3. 報告の内容

報告内容は、時間の制約もあり、4 点に絞込んで報告を行った。

① 学習環境（コーヒーショップ）について

現在大学図書館や公共図書館では、入口に必ずコーヒーショップが設置されている。「いかにして図書館へ来てもらうか」といった仕掛けの事例報告をした。

② Fish 研修について

アメリカ・シアトルの Pike Place Market の魚屋を事例に、職場でどのようにモチベーションをあげ、また楽しい職場をつくるにはどのようにしたらいいのかをロールプレイしながら学ぶ研修について報告した

4. 報告資料

研究大会で報告した詳細な内容は、私立大学図書館協会会報に掲載されている。また、私立大学図書館協会 HP の海外研修に、参加した詳細な研修報告が、アップされているので、こちらもされたい。

※ 掲載されている会報

…「2013 年度海外派遣研修報告」、『私立大学図書館協会会報』143, p118-126, 私立大学図書館協会



《図書館概況》

1. 平成26年度図書受入冊数

総 数 8, 8 6 3 冊 (和 7, 4 6 9 冊 洋 1, 3 9 4 冊)
 図 書 7, 4 5 4 冊 (和 6, 3 2 9 冊 洋 1, 1 2 5 冊)
 視聴覚資料 1 6 3 冊 (和 1 6 3 冊 洋 0 冊)
 製本雑誌 1, 2 4 6 冊 (和 9 7 7 冊 洋 2 6 9 冊)

(内数) 寄贈受入冊数

総 数 4 0 5 冊 (和 3 8 6 冊 洋 1 9 冊)
 図 書 1 9 1 冊 (和 1 7 2 冊 洋 1 9 冊)
 視聴覚資料 2 5 冊 (和 2 5 冊 洋 0 冊)
 製本雑誌 1 8 9 冊 (和 1 8 9 冊 洋 0 冊)

評価額 1, 0 2 1, 5 3 4 円

※定価の記載がない図書等の計上金額

和書：2, 2 0 0 円 洋書：1 3, 5 0 0 円

2. 除籍図書 (平成27年3月31日除籍)

総 数 7, 6 2 9 冊 (和 6, 8 5 0 冊 洋 7 7 9 冊)
 金 額 9 7, 2 3 2, 5 4 7 円

3. 蔵書冊数 (平成27年3月31日現在)

総 数 6 7 5, 1 0 1 冊 (和 4 3 2, 1 5 1 冊 洋 2 4 2, 9 5 0 冊)
 図 書 5 5 5, 0 0 5 冊 (和 3 7 4, 5 4 1 冊 洋 1 8 0, 4 6 4 冊)
 視聴覚資料 (LL移行分含) 1 2, 3 7 5 冊 (和 1 0, 0 7 4 冊 洋 2, 3 0 1 冊)
 製本雑誌 1 0 7, 7 2 1 冊 (和 4 7, 5 3 6 冊 洋 6 0, 1 8 5 冊)

4. 雑誌タイトル数 (平成27年3月31日現在)

総 数 5, 2 1 9 誌 (継続 2, 2 2 7 誌, 中止 2, 9 9 2 誌)
 和 文 3, 2 2 5 誌 (継続 1, 9 0 2 誌, 中止 1, 3 2 3 誌)
 内、紀要 1, 2 1 9 誌 (継続 8 6 5 誌, 中止 3 5 4 誌)
 欧 文 1, 9 9 4 誌 (継続 3 2 5 誌, 中止 1, 6 6 9 誌)

◇資料の所蔵数

◇図書受け入れ状況

図書館名称	図書の冊数 (冊)		定期刊行物 (誌)		視聴覚資料 所蔵数(種・点)		電子ジャーナル(誌)	亜細亜大学/亜細亜大学短期大学部 図書館			
	和洋 図書 冊数	開架図書 の冊数 (内数)	内国書	外国書	和洋	内 2013年度 受入数	和洋	2011年度 (H23)	2012年度 (H24)	2013年度 (H25)	2014年度 (H26)
亜細亜大学/ 亜細亜大学短期大学部 図書館	675,101	566,312	3,225	1,994	12,375	163	39	12,252	11,364	10,620	8,863



◇26年度 分類別図書・製本雑誌新規受入数

◇図書館分野別蔵書構成

(平成27年3月31日)

主題	図書		製本雑誌		合計		総合計	和書	洋書	合計	蔵書割合
	和書	洋書	和書	洋書	和書	洋書					
総記・図書館	228	31	107	12	335	43	378	27,643	9,498	37,141	5.9%
哲学・宗教	223	12	83	5	306	17	323	19,169	7,961	27,130	4.3%
歴史・地理	563	23	13	3	576	26	602	36,494	15,492	51,986	8.3%
社会科学	3,594	866	599	246	4,193	1,112	5,305	211,548	146,449	357,997	57.2%
総記	130	17	17	2	147	19	166	22,892	17,458	40,350	6.5%
政治	425	234	43	1	468	235	703	49,233	45,441	94,674	15.1%
法律	751	114	139	206	890	320	1,210	35,902	28,342	64,244	10.3%
経済	200	23	76	23	276	46	322	49,546	28,166	77,713	12.4%
経営	598	124	83	8	681	132	813	10,202	4,351	14,553	2.3%
金融	376	194	34	0	410	194	604	2,960	3,056	6,016	1.0%
財政	146	19	58	0	204	19	223	23,385	14,207	37,592	6.0%
統計学	5	1	26	0	31	1	32	10,879	1,878	12,757	2.0%
社会学	485	113	92	6	577	119	696	6,548	3,550	10,098	1.6%
教育	343	12	21	0	364	12	376	13,762	4,968	18,731	3.0%
民俗	95	3	4	0	99	3	102	15,397	3,594	18,991	3.0%
国防	40	12	6	0	46	12	58	25,484	11,238	36,723	5.9%
自然科学	193	24	12	0	205	24	229	14,563	7,260	21,823	3.5%
工学	347	50	40	1	387	51	438	10,921	3,978	14,900	2.4%
産業	438	65	117	0	555	65	620	9,858	826	10,683	1.7%
農業・水産	127	14	26	0	153	14	167	18,286	13,138	31,424	5.0%
商業・マーケティング	189	24	35	0	224	24	248	26,079	8,488	34,567	5.5%
貿易・交通	122	27	56	0	178	27	205	403,720	221,652	625,372	100.0%
芸術	204	7	2	0	206	7	213	9,799	2,322	12,121	
語学	165	11	2	0	167	11	178	4,638	1,833	6,471	
文学	319	2	2	2	321	4	325	13,995	17,142	31,137	
合計	6,274	1,091	977	269	7,251	1,360	8,611	432,152	242,949	675,101	
視聴覚資料等	218	34			218	34	252				
未分類図書											
アジア研究所図書											
総計	6,492	1,125	977	269	7,469	1,394	8,863				

◇資料の所蔵数

◇図書受け入れ状況

図書館名称	図書の冊数 (冊)		定期刊行物 (誌)		視聴覚資料 所蔵数 (冊)		電子ジャ ーナル	亜細亜大学/亜細亜大学短期大学部 図書館			
	和洋 図書 冊数	開架図書 の冊数 (内数)	内国書	外国書	和洋	内 2012年度 受入数		2011年度 (H23)	2012年度 (H24)	2013年度 (H25)	2014年度 (H26)
亜細亜大学/ 亜細亜大学短期大学部 図書館	675,101	566,312	3,225	1,964	12,375	163	39	12,252冊	11,364冊	10,620冊	8,863冊



◇図書館入館者数

(平成26年度)

月 区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
入館者数	35,897	36,959	43,821	58,326	6,100	14,080	32,571	30,135	33,665	35,497	2,987	3,817	333,855	27,821
開館日数	26	24	26	31	21	19	27	25	22	19	13	17	270	23
平均入館者	1,381	1,540	1,685	1,881	290	741	1,206	1,205	1,530	1,868	230	225	1,237	

◇図書貸出冊数

(平成26年度)

月 区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
貸出冊数	2,795	3,924	4,088	5,182	1,167	1,744	3,525	4,145	4,891	3,966	609	453	36,489	3,041

◇一人当たり貸出冊数の推移

区分		平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	(過去5年平均)
大学院	アジア・国際経営戦略研究科 (経営学研究科)	32	30	35	31	21	30
		2,932	2,474	2,744	2,358	1,416	2,385
		91	82	79	76	69	79
	経済学研究科	39	22	15	10	9	19
		590	464	286	154	128	324
		15	21	19	15	14	17
	法学研究科	20	19	18	10	8	15
		680	638	527	230	133	442
		34	33	29	23	17	27
大学	経営学部	4	6	5	5	4	5
		8,568	11,700	10,667	10,054	8,448	9,887
		2,018	2,082	2,129	2,160	2,143	2,106
	経済学部	3	3	3	3	2	3
		4,283	3,224	3,723	3,521	2,446	3,439
		1,271	1,258	1,239	1,269	1,276	1,263
	法学部	5	6	6	5	5	5
		9,368	9,599	9,523	8,437	8,279	9,041
		1,762	1,713	1,655	1,644	1,673	1,689
	国際関係学部	10	11	11	8	8	10
		12,423	13,269	13,653	10,044	10,405	11,959
		1,254	1,232	1,222	1,280	1,327	1,263
短期大学部		3	3	3	1	0	2
		1,510	1,240	1,223	552	41	913
		541	487	408	423	464	465
総平均		6	6	6	5	4	6
		40,354	42,608	42,346	35,350	31,255	38,383
		6,986	6,908	6,780	6,890	6,983	6,909

* 各年度の学生数は5月1日の在籍数を基準とし、貸出冊数は3月31日締め貸出冊

上段：一人当たり貸出し冊数
 中段：学生館外貸出し冊数
 下段：在籍学生



◇利用者サービス

区分			平成22年度 2010年度	平成23年度 2011年度	平成24年度 2012年度	平成25年度 2013年度	平成26年度 2013年度
開館日数	平日		208	210	216	212	216
	土曜		33	34	34	34	34
	日曜・祝日		12	17	13	18	20
	合計		253	261	263	264	270
入館者数	学生		364,700	356,337	367,601	341,263	314,670
	教職員		9,502	8,888	9,159	8,835	9,434
	学外者		2,752	11,746	11,090	9,935	9,751
	合計		376,954	376,971	387,850	360,033	333,855
貸出冊数	学生		43,917	42,608	42,346	35,350	31,296
	教職員		2,572	2,767	3,185	3,174	2,975
	学外者		1,852	1,871	1,555	1,142	2,218
	合計		48,341	47,246	47,086	39,666	36,489
利用者 ガイダンス	図書館ツアー	回数	9	9	9	9	8
		対象者	新入生	新入生	新入生	新入生	新入生
	文献指導	回数	10	11	14	20	23
		参加者	461	156	238	337	350
	学部学科指導	回数	51	50	48	46	45
		参加者	1	0	3	7	2
	CD-ROM・ オンライン	回数	33	0	14	30	65
		参加者	71	70	74	82	78
レファレンス	所蔵調査	学生	563	386	396	248	211
		教職員	61	34	88	4	30
		小計	624	420	484	252	241
	事項調査	学生	123	183	66	37	45
		教職員	8	8	14	3	3
		小計	131	191	80	40	48
	合計	学生	686	569	462	285	256
		教職員	69	42	102	7	33
相互協力	文献複写	依頼	135	125	143	87	128
		受付	305	213	225	234	231
	東京西地区 相互協力（内）	依頼	16	24	23	5	31
		受付	40	17	17	16	29
	紹介状	依頼	19	12	7	18	16
		受付	24	16	25	18	4
	東京西地区 相互協力（内）	依頼	1	1	0	2	5
		受付	12	6	11	7	1
	相互貸借	依頼	126	35	50	75	56
		受付	78	31	40	82	89
	東京西地区 相互協力（内）	依頼	13	3	6	4	8
		受付	3	6	3	2	4
	参考調査	依頼	20	13	10	18	8
		受付	23	19	10	20	19
図書館利用証発行数	東京西地区 相互協力（内）	依頼	1	2	0	8	3
		受付	13	7	15	8	3
	国会図書館	（借）	1	2	2	4	0
希望図書制度利用状況	卒業生 社会人（一般）	卒業生	35	40	34	44	37
		社会人（一般）	12	9	11	12	11
		合計	47	49	45	56	48
	経営学部	経営学部	31	9	1	1	5
		経済学部	10	3	10	8	1
		法学部	10	12	15	19	1
		国際関係学部	22	24	12	10	1
		大学院	53	45	34	19	10
		短期大学部	0	0	0	0	0
		合計	126	93	72	57	18



2014年 オンラインデータベース有料契約一覧

利用方法: 武蔵野キャンパス内ネットワークからアクセスが可能です。図書館学内ホームページ (<http://www1.asia-u.ac.jp/~lib/>) の左側メニューの「オンライン検索」から、オンライン検索へのリンクページのアイコンもしくはテキストリンクをクリックしてください。ご自宅からのご利用は、教職員のみが対象で、プロキシサーバーを利用した接続に限定されます。
ACSⅡにログインし、画面左側メニューの「他システム」|「オンライン検索」から接続に必要なIP設定を行ってご利用ください。
ご案内: 表中の内容は2014年4月1日現在のもので、掲載内容については各出版社の都合で変更されることがありますので、予めご了承ください。 2014/4/1 学術情報課作成

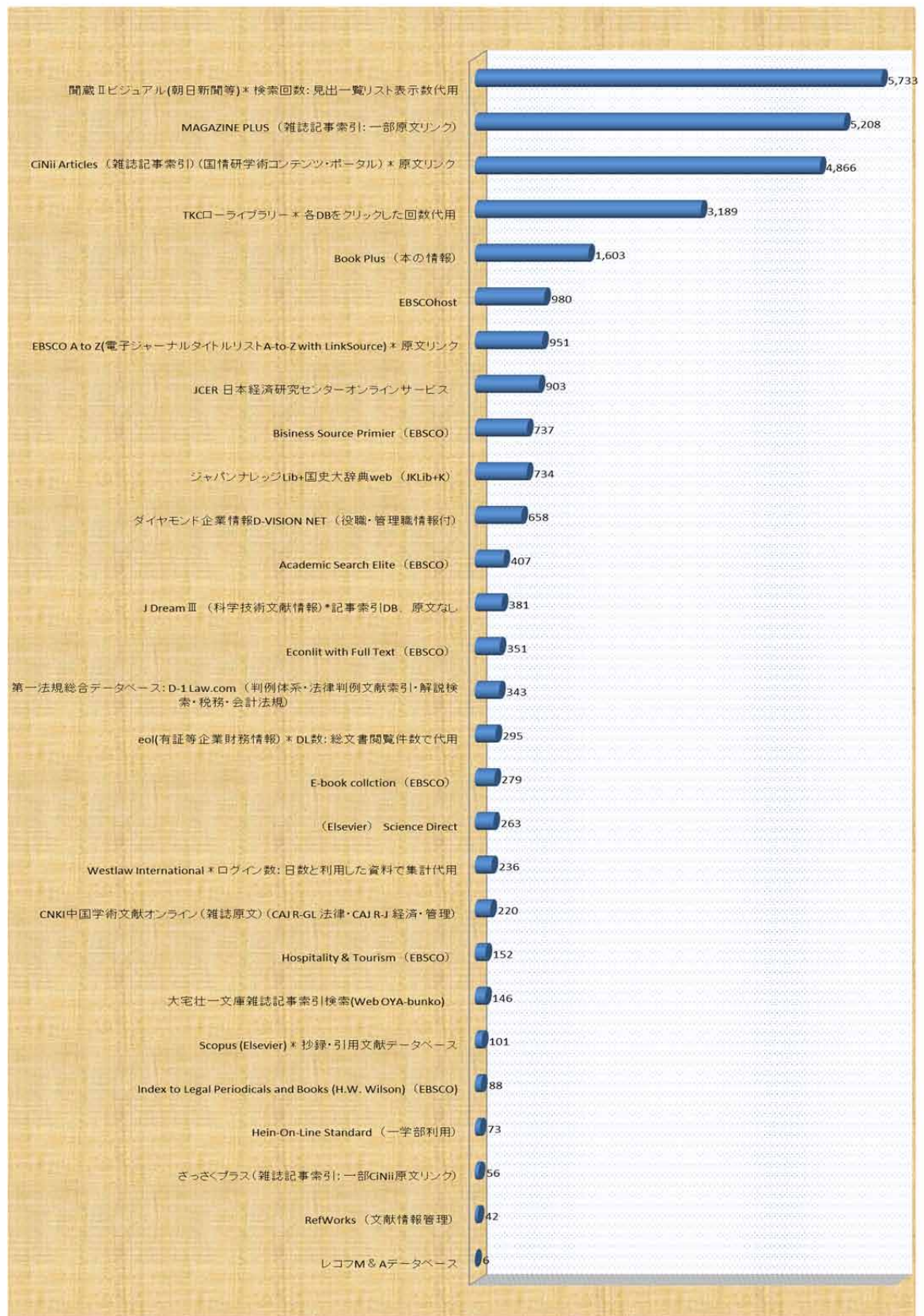
No.	分野	有料データベース名	概要	接続形態	同時アクセス
1	洋雑誌 新聞	ProQuest 人文社会科学、ビジネス、自然科学の学術雑誌・論文DB	人文社会科学系から自然科学など160の学術分野に及び雑誌や、新聞、学位論文、調査レポート等を複合的に収録したデータベース。＜全文DB＞ ・ProQuest Research Library (総合分野データベース) ・ABI/INFORM Complete (ビジネス・経済) 等12,600誌を収録。 ・新聞は、The Wall Street Journal/ The Los Angeles Times/ The New York Timesほか、世界主要500紙を収録。	自動認証	無制限
2	洋雑誌	EBSCOhost 人文社会科学、ビジネス、経済、観光の学術雑誌・論文DB	人文・社会科学、理工学系の学術雑誌を中心に、幅広い学問領域の雑誌論文を網羅した外国雑誌データベース。＜全文DB＞ ・Academic Search Elite (総合分野) +Business Source Premier (経営・経済) +Hospitality & Tourism Complete (サービス業全般) ・EconLit with Full Text (経済学・4アクセス) ・EBSCOhost機能を利用した電子書籍 (=「Net Library」) サービスも提供している。	自動認証	無制限 (4)
3	洋雑誌	Science Direct Elsevier社会科学分野電子ジャーナル	オランダElsevierが出版している学術雑誌のオンラインDB。冊子体購入45タイトルが電子ジャーナルとしてオンライン閲覧できる。購入のない雑誌を電子ジャーナルのみ閲覧できるサブジェクトコレクション (ビジネス、マネジメント、会計学、経済学) も付加している。＜全文DB＞	自動認証	無制限
4	洋判例	Westlaw International 米国判例、法令、行政資料、法律雑誌等法律情報検索DB	米国の最大のTHOMSON REUTERSが提供する法律全文情報検索システム。全米の法律からニュース、ビジネスまで、アメリカ判例、法令の全文を中心に、行政規則、議会情報、LAW REVIEWなど多岐の情報を網羅。＜全文DB＞	自動認証	無制限
5	洋雑誌 法学	Hein-On-Line 法律雑誌フルテキストサービス	William S. Hein & Co., Inc.提供で、法学分野における約1,200タイトル以上の主要定期刊行物をフルテキストで収録したDB。フルテキストコンテンツが網羅的に提供され、アメリカ政府の発行する官報「Federal Register」、 「US Reports」 「Treaties and Agreement Library」 イギリスの判例集、法案、判例など、アメリカ法、国際法に関するコンテンツを収録。＜全文DB＞	自動認証	無制限
6	洋書誌 法学	Wilson Index to Legal Periodicals & Books 法律学分野書誌DB ※EBSCOhostより検索	米国、ブルトリコ、英国、アイルランド、カナダ、オーストラリア、ニュージーランドの主要な法律誌、年鑑、研究所・弁護士会機関誌、大学出版物、法律レビュー誌の記事の書誌DB。法律学の学術雑誌、年鑑、学会誌、裁判関係の雑誌、大学の出版物、法学関係の書評、政府刊行物等に収録されている記事のデータを収録。全文提供なし。	自動認証	1
7	洋雑誌 国際	Source OECD 経済協力開発機構出版物DB	OECDの出版物について、単行書、雑誌を中心に、統計資料などを収録したDB。＜全文DB＞ 単行本と定期刊行物は1998年以降現在までに出版された資料のすべてと、絶版になって冊子体では入手できない資料も、PDFファイルで閲覧、ダウンロードが可能。StatisticsはエクセルTMなどの形式で過去最長1960年から直近のデータまでダウンロード可。	自動認証	無制限
8	洋情報 国際	EIU Country Report & Profiles Economist Intelligence Unit Country Report	英国の国際経済誌「The Economist」の企業情報部門であるEIUによる政治・経済の最新動向を分析したレポートで、各国別にEIUによる政治見解、経済政策、国内経済、及び産業部門の動向や外国貿易に関し解説した報告書DB。政治経済分析は世界的な定評があり、本学ではアジア諸国を中心に17カ国の情報が入手できる。＜全文DB＞	自動認証	無制限
9	洋情報 国際	United Nation ODS Official Documents System	1946年以降の公開された国連資料 (総会、安全保障会議等) が、インターネットを通して高速に検索閲覧できる情報提供サービス。＜全文DB＞	自動認証	無制限
10	洋情報 国際	Integrum ロシア・スラブ系 総合データベース	ロシア中央および地方の新聞・雑誌をはじめとする、ロシア関係の資料を集約した世界最大のオンラインコレクション。情報源の総数は5,000以上、文書量4万件以上、毎日4万件以上の文書が追加されている。主要紙は1990年代までさかのぼり、最新号は出版される前に入手が可能。	自動認証	1
11	洋雑誌 経済	NBER NATIONAL BUREAU OF ECONOMIC RESEARCH	NBER全米経済研究所は非営利・無党派の民間組織であり、米国の500大学以上の著名な研究者の経済動向に関する最新のワーキングペーパー等を収録しているDBである。フルテキストが利用できるコンテンツも収録。＜全文DB＞	自動認証	無制限
12	洋情報 財務	Mergent Online 世界の主要な上場企業の企業情報、財務データDB	米国、アジア、欧州、オセアニア、中南米の上場企業の企業情報、財務データが入手できるオンラインDB。＜全文DB＞ 収録データは、詳細かつ広範囲、長期にわたって蓄積され、すでに消滅した企業の情報、アニュアルレポート、有価証券報告書や格付情報などの付加価値情報も多数収録。最新の検索機能や分析レポート作成機能がある。また、環太平洋エリアの主要産業レポートも付加されている。	自動認証	5 (1)
13	洋雑誌 経営	Emerald Management Xtra マネージメント学術専門誌OJ	Emeraldは、英国のウェスト・ヨークシャーのブラッドフォード大学を中心とした経営学のスペシャリストによる出版事業MOB University Pressから発展したマネージメント学術専門誌のフルテキスト・オンラインジャーナル・コレクションで、世界の主要マネージメント雑誌の掲載記事・論文に関する速報、レビュー、抄録をも提供するゲートウェイサービス。図書館利用者すべてが利用可能。＜全文DB＞	自動認証	無制限
14	中国雑誌 法・済	CNKI China National Knowledge Infrastructure 中国学術文献オンラインサービス 法律・経済・管理	中国 (台湾・香港・以外) で発行されている法律、経済管理分野の学術雑誌や重要な新聞、研究機関が認定する学位論文、各種国際的学術学会で発表された論文集などの文献が閲覧できるオンラインサービス。＜全文DB＞	自動認証	3
15	洋図書 書誌検索	Books in Print /Books out of Print 洋書種の書誌情報DB	R. R. Bowker 社が作成する米国で出版された図書に関する最も網羅的な情報源で、今現在出版されている本と絶版本の書誌情報を検索できるDB。180万近い図書の、49,000の出版社、卸業者、代理店と77,000以上の主題見出しを含む米国の出版産業の情報への簡単なアクセスを提供。全文提供なし。	自動認証	1
16	和洋 新聞雑誌	Factiva.com Dow Jones社提供ニュースサービス 総合的情報収集ツール	世界各国の主要な新聞、業界紙、雑誌などのニュースから、企業情報、マーケット情報など多岐に渡るビジネス情報をオンラインにて提供。日本をはじめ200か国から23言語で提供される約28,000の情報ソースの最新ニュースから過去にさかのぼる情報を断片的に検索。多言語のビジネス情報DBサービスで、企業財務情報、現在から過去の市場データ、Investextが提供するアナリストレポートなども利用可能。＜全文DB＞	自動認証	3
17	和洋 新聞雑誌	EBSCO A to Z 雑誌タイトルからリンク先を検索するサービス	出版社やデータベース間のリンク情報を管理し、購読誌、データベース上のすべての雑誌をアルファベット順にリストアップするポータルサービス。重複調査や統合利用統計など購読管理ツールの活用により、合理的なデータベースの運用ができる。	自動認証	無制限
18	和洋雑誌 管理	RefWorks 学術情報・研究成果の収集と管理を支援するウェブサービス	研究者、教職員、学生、図書館員などあらゆる利用者のニーズに対応し、研究成果や電子リソースから収集した学術情報を蓄積・管理し、それらを共有化したり、情報発信するためのウェブサービス。1アカウントあたり5GBまでのデータ保存が可能。	個別認証	無制限
19	英国議会 資料	HCPP 19c/20c House of Commons Parliamentary Papers	近代以降の英国、英国植民地及び、その時代を取り巻いた諸外国の歴史・社会・政治・経済、外交政策を研究する上で、欠くことのできない重要な一次資料です。英国議会資料の中でもとくに重要視される下院議会文書19世紀中と20世紀分をデジタル化して、ウェブ上で一括検索できる。	自動認証	無制限
20	英国議会 資料	HCPP 18C Parliamentary Papers	英国議会資料は、英国、英国植民地及び、その時代を取り巻いた諸外国の歴史・社会・政治・経済、外交政策を研究する上で、欠くことのできない重要な一次資料です。1688年名誉革命から1834年ウェストミンスター宮殿焼失までの各種文書約100万ページを提供する。	自動認証	無制限
21	米国文書	Digital National Security Archive アメリカ外交政策極秘文書シリーズ	The National Security Archive (通称NSA)は、情報公開法に基づき体系的に公開請求を行い収集した米国国家安全保障の一次文書の中から特に重要なものをテーマごとに整理・インデックス化したwebデータベース。1945年以降の約80,000件、500,000ページの文書を収録。	自動認証	無制限
22	洋情報 検索	I M D IMD World Competitiveness	スイスの調査研究機関である国際経営開発研究所 (IMD) が様々な指標を使って、国際競争力を評価し、ランキングしている年鑑です。企業の競争力を支えるために、経済・経営・施策環境がどのように整っているかなどがわかる。	自動認証	無制限



No.	分野	有料データベース名	概 要	接続形態	同時 アクセス
23	和記事 検索	MAGAZINE PLUS マガジンプラス NICHIGAI WEB サービス	一般誌から専門誌、大学紀要、海外誌紙の記事検索DB。巨大OPAC・WebcatPlus・J-STAGE 論文・東洋経済ONLINE・JRIWebの原文やRefWorkに連携。 国立国会図書館 (NDL) の「雑誌記事索引」ファイルを検索するほか、「雑誌記事索引」ではカバーしきれない年報類、論文集 (14,000点・62万論文) や、一般誌などを追加。MAGAZINE PLUS 雑誌24,806誌、図書13,123冊、1,223万件 (論文・記事) を収録。＜一部全文提供＞	自動認証	5
24	和記事 検索	Web OYA・bunko教育機関版 大宅壮一文庫 雑誌記事索引検索Web版	雑誌専門図書館・大宅壮一文庫の雑誌記事索引によって、週刊誌・総合誌・女性誌など現代「マガジン」の記事情報が取得できます。1988年以降最新までの約1200誌 (刊行中400誌) から探検した索引総数660万件以上の記事検索DB。月1回約15,000件のデータ更新が継続。＜全文提供＞	自動認証	1
25	和図書 検索	BOOK PLUS ブックプラス NICHIGAI WEB サービス	昭和元年より現在までに出版された本の情報。約400万件を収録したDB。情報は毎日追加・更新され、絶版書・非流通本なども多数収録。1986年以降の本には、要旨・目次情報、あらすじ、2000年以降は、著者紹介情報を掲載。最近2週間の新着情報 (毎日更新、本の目次・あらすじのほか、表紙のカラー画像付き)、ベストセラーと著者情報 (毎週更新、要旨・目次・著者情報付き) も掲載。＜全文提供なし＞	自動認証	1
26	図書/雑誌 学術論文 検索	GeNii (ジーニイ) 国立情報学研究所 学術コンテンツポータル	国立情報学研究所が運営するCNi (日本の学術論文を中心にした論文情報の検索)、Webcat Plus (図書や雑誌を検索し、所蔵している大学図書館等の検索)、KAKEN (科学研究費補助金DB)、JAPIO (日本の学術機関リポジトリに蓄積された学術情報)、を統合的に検索。	自動認証	無制限
27	和文献 検索	J Dream III 科学技術文献情報DB	科学技術や医学・薬学関係の国内外文献情報が検索できるDB。収録文献は6,000万件で、科学技術の全分野にわたって網羅的に収録。内容は、学協会誌 (ジャーナル)、会議・論文集/予稿集、企業技術、公共資料など。研究者や技術情報担当者向けDB。＜全文提供なし＞	自動認証	10
28	和情報 検索	JapanKnowledge +NK ジャパンナレッジ・プラスエヌケイ 百科事典	日本大百科全書のデータをベースとしたデータベースで、百科事典としての機能のほか、英和辞典など15の辞書や、「日本国語大辞典」「国史大辞典WEB」、現代用語の基礎知識、経済週刊誌「エコノミスト」、「東洋ラング」などを収録。辞書、事典を横断検索し読み比べが容易で多面的な知識が収集できる。＜全文DB＞	自動認証	1
29	和雑誌 検索	東洋経済デジタルコンテンツ・ライブラリー 雑誌記事検索	『週刊東洋経済』『金融ビジネス』『Think』『一橋ビジネスレビュー』『統計月報』を始めとする18種の雑誌を収録し、掲載された誌面のPDFやテキストでダウンロードが可能。また、『会社四季報』『税務四季報』『CSR企業総覧』『日本の企業グループ』などのデータブックをオンライン上で見ることができるデータベース。レポート作成、就職活動で有用な資料として活用できる。＜全文DB＞	自動認証	7
30	和情報 検索	日経テレコン21 日本経済新聞社 新聞・ビジネス誌DBサービス	日経4紙をはじめ、国内120万社、世界5,000万社の企業情報や人事情報等、幅広い分野の情報を網羅したDB。日本経済新聞の過去の記事を1981年から収録され、情報リソースの一元化により、業界動向の情報収集、取引先の業績、信用調査など様々なリソースから入手した情報を収録。＜全文DB＞	自動認証	5
31	和雑誌	日経BP記事検索サービス 大学版 バックナンバー・ライブラリー	日経BP社が発行する雑誌のバックナンバー記事が、オンライン上で、テキスト形式 (本文のみ) またはPDF形式 (記事全体) でダウンロードできるサービス。最新号も発売日以降隔次掲載され、読みたい情報がいつでも簡単に検索・閲覧できる。(全40誌) ＜全文DB＞	自動認証	12000本
32	和新聞 記事	聞蔵 (きくぞう) II ビジュアル 朝日新聞記事DB	朝日新聞社が著作権を有する新聞記事・AERA・週刊朝日の記事、知恵蔵の現代用語を収録しているDB。新聞記事は1879年の創刊から今までで、約1,300万件以上の記事と広告が検索できる国内最大級の新聞記事オンラインデータベース。1985年から現在まではテキスト表示と2005年以降は切り抜き・図表イメージで収録。＜全文DB＞	自動認証	5
33	和情報 検索	D-VISION.NET for University ダイヤモンド社企業情報DB	ダイヤモンド社が提供する、企業情報データベース・サービス。有力企業8万社、19万事業所、役員・管理職25万人の豊富なデータを収録。大学・学校・図書館を対象とした企業・ビジネス情報検索サービスで、企業研究、レポート作成、卒論の資料、また最新のビジネス動向の把握に利用可能。『週刊ダイヤモンド』記事検索やバックナンバーも収録。＜全文DB＞	自動認証	2
34	和情報 検索	EOL 国内企業の財務情報データベース	有価証券報告書 (1984年以降)、決算短信、財務データ (1989年以降)、新規公開目録見書 (2001年以降)、企業基本情報、企業ランキングシステムデータベースなどの企業財務情報、企業日財務情報を収録。eol版XBRLデータを活用した同業他社との財務データ比較や業界平均値との比較も可能。	自動認証	3
35	和情報 検索	月刊『国際問題』 国際問題専門紙のオンラインサービス	月刊『国際問題』は、1960年4月に日本唯一の月刊国際問題専門誌として創刊された。流動する国際社会を的確に理解するため、わが国多数の専門家が実証的かつ解説的な論文を執筆している。また、基礎資料、国際問題文庫、書評等も紹介している。＜全文DB＞	自動認証	1
36	和判例	TKCローライブラリー (LEX/DBインターネット) TKC法律情報DB	TKCローライブラリーは「判例」「法令」「判例解説」を中心とした総合法律情報データベースです。 明治8年の大審院判例から現在までの判例全文と関連情報約15万件を網羅的に収録した「LEX/DBインターネット」や、法務省責任編集による我が国最高権威の法令集「現行日本法規」に基づいた法令データベース「Super法令」等が利用できます。＜全文DB＞	自動認証	7
37	和法律 検索	D1-Law.com 税務・会計データベース	『税務・会計データベース』は、第一法規の税務・会計分野のWEB商品に1つに集約した総合サイトです。国税の主要税目である法人税、所得税、相続税、消費税をトータルカバーしています。	自動認証	2
38	和法律 検索	D1-Law.com 第一法規「判例体系」「法律判例文献情報」DB	「判例体系」の約22万件の判例とこれらを理解するための要旨・解説情報、「法律判例文献情報」に収集した約55万件の文献情報等の法情報を掲載したDB。判例は法律家が検討を加えた争点別の要旨を掲載。＜全文DB＞	自動認証	2
39	和情報	官報情報検索サービス	日本の官報 (本紙、号外、政府調達公報、資料版、目録) をインターネットで検索できる独立行政法人国立印刷局から提供のサービス。＜全文DB＞	自動認証	1
40	和洋 事典・年鑑	Britannica ブリタニカ・オンライン・ジャパン	ブリタニカ国際大百科事典 (大項目事典・小項目事典) と国際年鑑をデータベース化した「ブリタニカ・オンライン・ジャパン」、240年以上の歴史をもつEncyclopaedia Britannicaのオンラインデータベース「Britannica online」、2つのデータベースが標準仕様で利用できます。	自動認証	無制限
41	和情報	J CER 日本経済研究センターのオンラインサービス	日本経済研究センターは、1963年に日本経済の発展に寄与することを目的に事業を開始した非営利の民間研究機関。オンラインデータベースでは独自の経済予測・分析や景気指標、所属する研究員の研究レポート、学術論文「日本経済研究」、政策提言誌「Asian Economic Policy Review」、機関誌「日本経済研究センター会報」などを収録する。	自動認証	無制限
42	和情報	レコフM&Aデータベース	日本企業のM&Aをどこよりも網羅的に、即日性をもって構築している日本で最も信頼性の高いデータベースです。 日本のM&A市場、業界再編動向、企業戦略などの分析ツールとして、M&A業界に携わる方々、企業経営者、研究者の必須アイテムです。	ID PASS 5層閲覧カ ウンター	1
43	和情報	NEEDS-Financial QUEST	日経NEEDSに収録される企業財務、株式・債券、マクロ経済、産業統計など様々なジャンルの経済データをインターネット経由で取得できるデータ検索サービスです。 分析に必要なデータを希望する検索条件で取得できます。	自動認証	10
44	洋抄録・引 用情報	Scopus	Scopus (スコーパス) は、エルゼビアが提供する世界最大級の抄録・引用文献データベースです。全分野 (科学・技術・医学・社会科学・人文科学)、世界5,000以上の出版社の20,500誌以上のジャーナルを収録しています。1996年以降の論文は、抄録に加えて参考文献も収録しています。	個別認証	無制限
45	和記事 検索	ぞっさくプラス	読星社刊行の『明治・大正・昭和前期 雑誌記事索引集成』(120巻) を基に作成されたデータベースです。明治初期から現在まで、総合雑誌など全国誌から地方で発行された雑誌が検索できます。	自動認証	1

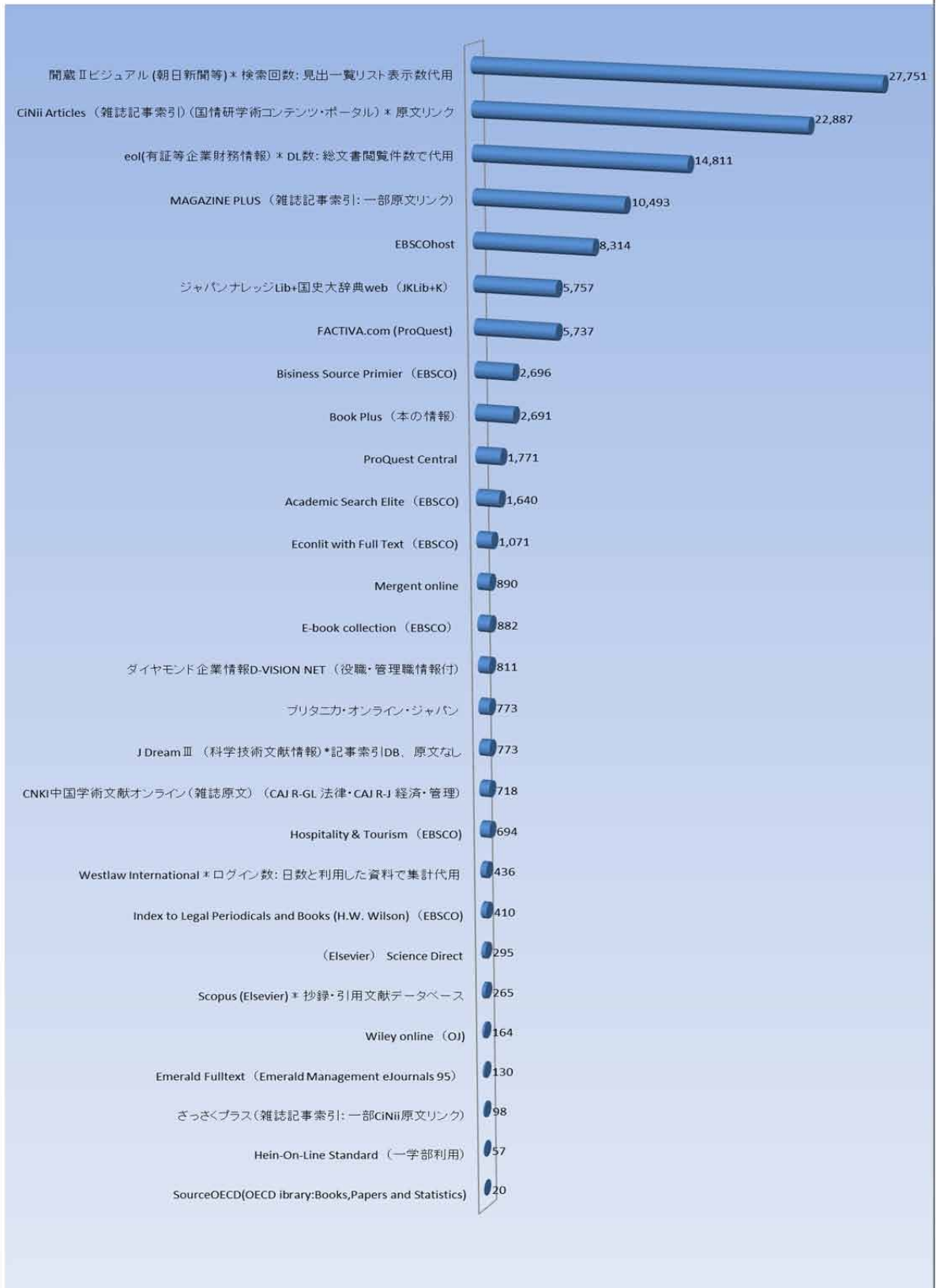


主要オンラインの利用/ログイン数





主要オンラインの利用/検索回数





主要オンラインの利用/フルテキスト表示・DL数





図書館での利用範囲



利用区分	利 用 者																					見 学 者			
	教 職 員 等								学 生 等								学 外 者								
	専任教員	非常勤講師	研究員	専任事務職員	臨時事務職員	派遣職員	業務委託職員	退職教職員 (「J」ルビ含意)	学部生・短大生・別科生	大学院生	大学院・研究生・大学院・委託生	聴講生(学生証)	司書講習受講生	研究所研究生	委託生	A U J P 受入生	「図書館利用証」 卒業生	「1日利用」 卒業生	「図書館利用証」 社会人	新入生 (入試合格者)	紹介状持参者	中高生	受験生・父母 (高校・予備校生)	社会人利用希望者	業者 (営業他)
利用者 I D			U A						V A	A M E M L M A D E D L D B D	Y G W G	Z A Z B Z C Z D X C X D X E X A	S S	Y A, Y C	W U W A W C W V		T G		T S		Guest				D
利用料	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3000円	—	3000円	—	—	—	—	—	—
入館	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
図書貸出	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×
貸出冊数	30	20	20	30	10	10	10	15	10	15	15	10	3	10	10	3	10	×	×	×	×	×	×	×	×
貸出期間	3か月	3か月	3か月	3か月	2週間	2週間	2週間	1か月	2週間	1か月	1か月	2週間	1週間 延長×	2週間	2週間	1週間 延長×	2週間	×	×	×	×	×	×	×	×
長期貸出(夏・冬・春)	—	—	—	—	—	—	—	15	20	30	30	20	×	20	20	×	20	×	×	×	×	×	×	×	×
指定図書貸出	—	—	—	—	—	—	—	×	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
予約図書	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	×	○	×	×	×	×	×
希望図書	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	×	×	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
4階AV資料	○	○	○	○	○	△	△	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	×	○	×	×	×
別館図書請求	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×
2・3階P Cフロア	○	○	○	○	△	△	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	×	○	×	×	×
館内貸出ノートP C	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	×	×	×	×	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×
スキャナー	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	×	○	×	×	×
モノクロ印刷上限(枚)	∞	∞	∞	∞	∞	∞	∞	∞	600	1000	1000	300	300	300	300	100	300	×	×	100	×	20	×	×	×
カラー印刷上限(枚)	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	50	100	100	50	50	×	×	50	×	10	×	×	×
プレゼンルーム	○	○	○	○	△	△	△	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
M2L	○	○	○	○	△	△	△	○	○	○	○	×	×	×	×	×	△	×	×	×	×	×	×	×	×
I L L・図書貸借依頼	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	×	×	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
I L L・文献複写依頼	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	×	×	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
所蔵調査	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×
電話による所蔵調査	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	×	×	×	×	×
紹介状発行	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	×	×	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
オンラインD B	○	○	○	○	△	△	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	×	×	△	×	×	×	×	×
オンライン代行検索	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	×	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
O P A C 検索	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×
ネット文献探索	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	×	×	×	×	×
C D - R O M	○	○	○	○	△	△	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○	×	×	×
Felica登録	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
複写代行(業者)	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
資料⇒P D F コピー	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×

※ 別館資料請求の受付時間 (平日 午前9時から午後4時30まで) (土曜日 午前9時から午前11時30分まで)

※ 別科生は春の長期貸出はありません。

※ △ = 業務上の使用は可

※ U A : 客員研究員 V A : 留学生別科

※ 大学院 A : アジア・国際経営戦略研究科博士前期 E : 経済学研究科 L : 法学研究科 B : 経営学研究科 M : 博士前期 D : 博士後期 Y G : 大学院研究生 W G : 大学院委託生

※ Z A : 社会人聴講生 Z B : 大学院聴講生 Z C : 学部特別聴講生 (単位互換) Z D : 大学院特別聴講生 X C : 教職課程履修生 X D : 図書館学課程履修生 X E : 社会教育課程履修生 X A : 科目等履修生 (学部) X B : 科目等履修生 (大学院)

※ Y A : アジア研究所研究生 Y C : 英語教育研究所研究生

※ W U : 学部委託生 W A : アジア研究所委託生 W C : 英語教育研究所委託生 W V : 留学生別科委託生

※ 上記設定は、2014年3月31日現在。



Library Notes 第79号

ようこそ！ 亜細亜大学図書館へ

図書館を上手に利用して、有意義な大学生活を送ってください。

・図書があるのは？
⇒ **6・7Fフロア**

6F...政治、経済、経営、法学、国際関係など、
学部の専門科目に重なる社会科学系関係
7F...文学、歴史、自然系、経営、文学、
コンピュータ関係など、人文・自然科学関係

・新聞・雑誌を見るには？
⇒ **1F(5000冊の雑誌・新聞)・5Fフロア**

・DVD・ビデオ等映像資料を見るには？
⇒ **4Fフロア**

・パソコンを使ってレポートを書きたい
⇒ **2・3Fフロア**

・グループで話し合いながら課題を行いたい
プレゼンテーションの練習をしたい
⇒ **2Fフロア**

・図書館の使い方／資料の探し方がわからない
⇒ **1・5Fカウンターへ**

（何かわからないことがあれば、お気軽に1F・5Fカウンターへ
お問い合わせください。どんな小さなことでも構いません。
きっとあなたの助けになります。）
（5Fカウンターは平常時 平日17時までです（土曜日は不在）
以降は1Fカウンターをご利用ください。）

詳しい利用案内は、「Library Guide」をご覧ください。

2F・3F・4Fがリニューアルオープン！

- 2F...グループ学習を目的としたラーニング commons
- 3F...レポート・論文などの作成を目的とした自習PCフロア
- 4F...フロア配置・環境一新！
皆様のご利用をお待ちしています！！

8F	食書室
7F	人文・自然科学 図書フロア
6F	社会科学図書フロア
5F	レファレンス・ 雑誌・新聞フロア
4F	AVフロア
3F	自習PCフロア
2F	ラーニング commons M2L
1F	インフォメーション 学図史展示室
B1F	書庫
B2F	書庫

平成26年4月1日

LIBRARY CALENDAR 2014

4月-April-

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

5月-May-

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

* 5月2日(金)は、土曜日の繰り替え休業のため、
9:00-19:00の閉館時間となります。

6月-June-

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

無印：8:00～21:00
■：8:00～18:00
□：8:00～17:00
●：休業日

* 6月22日(日)は、9:00～17:00に特別開館致します(ただし閉館です)。
【オープンキャンパスのため多数の見学者が予想されます。あらかじめご了承ください。】

地下書庫/4F AVフロアは、開館日の開館30分前までの利用になります

（お問い合わせ先）

1Fカウンター 0422(26) 2206
5Fカウンター 0422(26) 2204
図書館 <http://www.asia-u.ac.jp/library/>
E-mail: library@ml.asia-u.ac.jp

亜細亜大学・亜細亜大学短期大学部 Library Notes No.79

Library notes 第80号

図書館からのお知らせ

2F～4Fが大きく変わりました。～ラーニング・commonsの誕生～

2F

ラーニング・commons ～グループ学習を目的としたフロアです～

- プレゼンテーションエリア
プロジェクターや電子黒板、ホワイトボードなど、グループ学習に適した設備が設置されているエリアです。プレゼンの練習や事前打ち合わせ等ができます。空いているときは自由に利用いただけます。予約も可能です。
- グループ学習エリア
相談しながら学習ができるエリアです。机を組み合わせて、複数人での学習が可能です。エリアにあるホワイトボードやペンはご自由にお使いいただけます。
- ◆ ノートPCの貸出
館内で自由に使用していただけるノートPCの貸出を行っています。(要学生証)

3F

自習PCフロア

～レポート・論文などを
作成するためのフロアです～

机の両側にしきりがあり、個別学習に集中
することができます。PCを使用した課題や
論文作成時にご利用ください。

- デスクトップ(128台)
- ノートPC(20台)

集中して学習できるよう、
このフロアは私語禁止です！

4F

AVフロア

座席と機器を一新しました！
個人視聴席を広くし、ノート
を使用しながらの視聴学習が可
能になりました。また、語学学
習用の参考書が手に入りやす
く、より便利になりました。

- グループ用 2ブース
- 個別用 46ブース
- 語学用 9ブース

平成26年6月2日

LIBRARY CALENDAR 2014

6月-June-

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

7月-July-

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

8月-August-

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

無印：8:00～21:00
■：8:00～18:00
□：8:00～17:00(特別開館)
○：10:00～18:00
(夏休み開館/詳細は次号で)

○は、特別開館日です。4F・地下書庫は開館30分前まで利用できます。
(ただし、7月8日・27日は4Fは利用できません)
オープンキャンパスや入学式のため多数の見学者が予想されます。あらかじめご了承ください。

* 夏休み長期貸出：7月26日(土)からになります

（お問い合わせ先）

1Fカウンター 0422(26) 2206
5Fカウンター 0422(26) 2204
図書館 <http://www.asia-u.ac.jp/library/>
E-mail: library@ml.asia-u.ac.jp

亜細亜大学・亜細亜大学短期大学部 Library Notes No.80



Library Notes 第53号

冬休み貸出と学年末試験期間中の貸出

《冬休み貸出》*大学院生は冊数のみ変更です。
*指定図書は長期貸出になります。

貸出受付：12月6日(土)～25日(木)
貸出冊数：学部・短大生 20冊 大学院生 30冊
返却日：1月9日(金)～ *返却日は貸出日によって異なります。
手続の際に、必ずしシートを添付してください。

《後期試験期間中の貸出》*大学院生は除く

貸出受付：1月9日(金)～1月25日(日)
貸出冊数：10冊
貸出期間：1週間

- * 特別開館日：1月25日(日)は、8:00～17:00まで開館します。
(4Fは利用できません)
- * 1月17日(土)は、大学入試センター試験のため閉館します。
- * 2月2日(月)～7日(土)、25日(水)は、一般入試のため閉館します。
- * 春休み長期貸出：1月25日(月)から受け付けます。

借りている本の返却日がわからなくなったら
『マイライブラリ』で確認を！
『マイライブラリ』への入り方は貸出貸出係(4F)に
ある返却BOX上の指示を参考に、職員にお尋ねください。

*変更のある場合は、随時図書館HP、各掲示板等でお知らせします。



LIBRARY CALENDAR 2014～2015 WINTER

平成26年12月1日

12月-December-

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

1月-January-

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

2月-February-

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28

- * 12月25日(木)は、本館の職員不在のため、9:00～19:00の閉館時間となります。
- * 1月25日(日)は20:00～17:00で特別開館します。(4Fは利用できません)
- * 1月17日(土)は大学入試センター試験のため閉館します。
- * 2月2日(月)～7日(土)、25日(水)は一般入試のため、閉館します。

開館：9:00～21:00

□：9:00～19:00

□：9:00～17:00

○：9:00～17:00(特別開館)
(4Fは利用できません)

■：休館日

地下書庫/4FAVフロアは、開館日の閉館30分前までの利用になります。
(*1月25日は4Fの利用はできません)



亜細亜大学・亜細亜大学短期大学部 Library Notes No.53

Library Notes 第54号

長期貸出と開館日のお知らせ

◆長期貸出◆

貸出受付：1月26日(月)～3月23日(月)
貸出冊数：学部・短大生 20冊 大学院生 30冊
返却日：4月9日(木)～ *返却日は貸出日によって異なります。
手続の際に、必ずしシートを添付してください。

- **ただし、卒業・修了予定者は長期貸出の対象とはなりません。
- ***「指定図書」は、1月21日(土)より長期貸出になります。

◆開館日・休館日◆

開館日：2月10日(火)～4月8日(水) [休館日は除く]
開館時間：月～金 9:00～17:00
土 9:00～17:00(4月のみ)
(*2・3月の土曜日は休館です)
休館日：各土曜日(2・3月のみ) 日曜日(3月15日を除く) 祭日
2月 2日(月)～2月6日(金)・25日(水) [入学試験]
3月24日(火)～3月31日(火) [蔵書点検・館内整備]

- * 地下書庫、4FAVフロアの利用は開館日の閉館30分前までです。
- * 3月24日(火)～31日(火)の閉館期間にパソコンが利用したい方は、2Fラーニング commonsの活用が可能です。(月～金 9:00～17:00)

◆卒業・修了予定者の返却期限について◆

最終返却日：学部生・大学院生(聴講修了者含む) 3月 6日(金)

* 聴講・研究・留学生・卒業生の方の最終返却日も同様になります。



注意！ 圖書の返却が滞りない場合は、卒業式当日に学位記が
授与されないことありますので必ず最終返却日を厳守して下さい。

- * 卒業生もご所属であれば図書室を利用できます(有料：年間2千円)。新卒(4月以降)、1Fカウンターで手続きください。
- * 上記開館中の資料に関する問合せやレザレンスは、1Fまたは2Fカウンターまでお願いいたします。
- * その他変更のある場合は、随時図書館HP、各掲示板等でお知らせします。

LIBRARY CALENDAR 2015

平成27年1月21日

2月-February-

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28

3月-March-

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

4月-April-

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

開館：9:00～21:00

□：9:00～17:00

□：9:00～19:00

■：休館日

3月24日(火)～31日(火)の閉館期間にパソコンを利用したい方へ
● この期間は、2Fラーニング commonsが利用できます。(月～金 9:00～17:00)



お問い合わせ先 1Fカウンター 0422(26) 3296
2Fカウンター 0422(26) 3284
図書館 <http://www.asia-u.ac.jp/library/>
E-mail: library@ml.asia-u.ac.jp

亜細亜大学・亜細亜大学短期大学部 Library Notes No.54



2014年4月30日

教職員各位

このメールは、図書館からの情報発信を目的としています。
新着図書や雑誌、オンライン等の情報を年4回に分けて
お知らせいたします。
今回は、4-6月の開館日程と図書館の情報です。

■□■□ 目次 ■□■□

1. 図書館からのお知らせ！
2. 4-6月の図書館開館日程
3. オンライン情報
4. 新規雑誌（冊子体）情報
5. 新着図書情報

□■□■ ■ □ ■□■□

今年度もこのメルマガを通して図書館から色々な情報をお伝えしていきたいと思ひます。
どうぞよろしくお願いいたします。

◆◇ 1. 図書館からのお知らせ！ ◇◇

① 2F・3F・4Fフロアが大きく変わりました。

4月より2~4Fフロアが大幅リニューアルしました。

<2F>

ラーニングコモンズとしてグループ学習を目的としたフロアになり、プロジェクターを使ったプレゼンテーションの練習や、相談しながら学習できるグループワークエリアなどがあります。また、ノートパソコンの貸出も行っており、館内であれば自由に使うことができます。

<3F>

自習PCフロアとして、レポート・論文などを作成するためのフロアとなり、仕切りで区切られた148席の座席にはそれぞれパソコンが置かれ、集中して学習できるよう私語は厳禁となっています。

グループと個人のフロアを分けることにより、以前に比べて利用しやすい環境を提供します。

<4F>

ブースと機器を一新。よりゆったりと視聴覚資料の鑑賞が可能になりました。

さまざまな可能性を秘めているラーニングコモンズ等の施設ができましたので、学生にも勧めていただくとともに、教職員のみならず是非ご活用ください。
それぞれの設備につきましては、おいおいこちらのメルマガで紹介していきたいと思ひます。

② 図書館のホームページが新しくなりました。

4月1日の大学のHPのリニューアルに伴い、図書館のサイトも新しくなりました。図書館の蔵書は以前のHPと同様、中央の検索窓から検索することができます。また、新着図書を確認したい場合は、OPAC検索窓下の「新着図書」をクリックしてください。図書館に配架されて7日以内の図書を確認できます。

マイライブラリやオンライン検索、学術リポジトリ（OPAC検索窓上のタブキーで切替検索も可）は左側メニューに、図書館の使い方等は、中央下に配置しています。

また、スマートフォンからアクセスいただいた場合も、パソコンと同じ情報を閲覧することができるようになりました。これまでより一層、身近なサイトとしてご利用いただければ幸いです。

③ 1Fに新しい書棚が入りました。

図書館1Fの新着図書棚の奥にもうひとつ書棚が入りました。

イベント棚と称し、今までの学生選書の本を並べています。なお、書棚が入ったことにより、1Fで使えるパソコンはカウンター奥にある4台のみとなります。

④ 1Fの新聞が増えました。

今まで3Fにおいてありました「日経MJ（流通）新聞」「日経産業新聞」「日経ヴェリタス」「Fuji Sankei Business i」の当日分も1Fの新聞台に並べました。これにより、以前からあった「朝日新聞」「読売新聞」と合わせ1Fで見られる当日の新聞は17紙となります。

⑤ 「指定図書コーナー」の並びが変わりました。

7Fにある「指定図書コーナー」ですが、昨年末までは先生のお名前ごとに区切って本を並べていましたが、探しばらばの意見があったため、今年度よりすべての本を請求記号順に並べ変えました（書棚も今年度指定図書・近年の指定図書に分けました）。

今年度の指定図書リストは図書館HPで確認できます。さらに、OPACの検索結果でも備考欄に先生のお名前と指定年度を入れるようにしました（今年度分より）。

⑥ 検索用のプリンターの方式が変わりました。

OPAC検索用のプリンターは、6・7Fに加え、B1F・B2Fもレシートプリンターに変わりました。
また、6F法律PC用プリンター・5F・1Fのプリンターは、認証方式に変更しました。

◆◇ 2. 4-6月の図書館開館日程 ◇◇

○ 4月10日（水）～6月（通常開館）

月～金：9:00～21:00

土：9:00～19:00

（地下書庫・4Fフロアは閉館30分前まで利用できます）

休館日：各日曜日・祝日、5月3日（土）～5月6日（火）

特別開館：6月22日（日）9:00～17:00

（4F/地下書庫は閉館30分前まで。2Fは使えません）

開館カレンダーはこちらから

→ <http://www.asia-u.ac.jp/library/calendar/>

◆◇ 3. オンライン情報 ◇◇

☆・・・オンライン検索は学内専用です。ご自宅からの設定は別途お問い合わせください・・・

《お知らせ》

① 「ScienceDirect」のオンラインジャーナル（OJ）のタイトルを入れ替えました。

2014年4月より ScienceDirect の契約タイトルを1誌入れ替えました。

【新規 OJ（2014.4より利用開始）】

1. System（ISSN:0346251X） 出版社：エルゼビア

【中止 OJ（2014.3まで）】

1. Journal of Transport Geography（ISSN:09666923） 出版社：エルゼビア

② 2014年無料洋雑誌 OJ の閲覧範囲と利用方法について

当館が洋雑誌「冊子+OJ」のセットで購入している OJ タイトル数は67誌（無料 OJ31誌、有料 OJ36誌）ありますが、図書館HPのオンライン検索一覧の中にある EBSCO A to Z で全文入手できます。収録タイトルはインデックスの出版社タイトルリストまたは誌名、ISSN から検索できます。冊子同様、ご利用いただけましたら幸いです。

<*無料 OJ 定義について>

Print（冊子）契約している利用者に提供される OJ です。

<*無料 OJ の閲覧範囲について>



出版社

閲覧範囲

SAGE	契約年と前年のみ
Taylor and francis	1997 年以降 (1998 年以降の新聞については創刊年から)
Ingenta (J. c. b. mohr)	オンライン化されている号全て
Springer	契約年 (カレントイヤー) 1 年のみ
Wiley black-well	無料 OJ はなし。Print+OJ か OJ Only のみの形態【どちらも閲覧範囲は最新年度+過去 4 年】

③ 2014 年洋雑誌の契約において、昨年まで「冊子+OJ」で購入していた雑誌のうち、OJ の年間利用回数が 10 回以下のものに関して、今年度の OJ の契約を中止しました。

【2014 年より有料オンラインジャーナルが中止になったもの (冊子は継続です)】

* ただし、無料 OJ のあるものや他の DB 等で閲覧可能なものもあり、タイトルには横に閲覧可能な年度を記載しています。(EBSCO A to Z で検索可)

* 年度のみ : 無料 OJ により閲覧可

DB 名と年度 : 本学契約の DB により閲覧可

1. **African and Asian studies** (ISSN:15692094) (EBSCO 2002-2013)
2. **American sociologist. New series** (ISSN:00031232) (2013-2014)
3. **Comparative sociology** (ISSN:15691322) (閲覧不可)
4. **Crime and delinquency** (ISSN:00111287) (2013-2014)
5. **Europe Asia Studies** (ISSN:09668136) (1997-2014, EBSCO 1993-2013)
6. **Human relations** (ISSN:00187267) (2013-2014, ProQuest 1992-2007)
7. **Indian economic and social history review** (ISSN:00194646) (2013-2014)
8. **Journal of hospitality and tourism research** (ISSN:10963480) (2013-2014)
9. **Journal of hospitality marketing and management** (ISSN:19368623) (1997-2014)
10. **Journal of law and economics** (ISSN:00222186) (Hein on Line 1958-2008)
11. **Journal of macromarketing** (ISSN:02761467) (2013-2014)
12. **Journal of management** (ISSN:01492063) (1999-2014, EBSCO 1975-2001)
13. **Journal of travel and tourism marketing** (ISSN:10548408) (1997-2014)
14. **Journal of travel research** (ISSN:00472875) (2013-2014)
15. **Law and philosophy** (ISSN:01675249) (2013-2014)
16. **Middle Eastern studies** (ISSN:00263206) (1997-2014, ProQuest 1995-2002)
17. **Modern China** (ISSN:00977004) (2013-2014)
18. **Organization studies** (ISSN:01708406) (2013-2014, EBSCO 1980-2002)
19. **Quarterly journal of economics** (ISSN:00335533) (EBSCO 1886-2013)
20. **Quarterly journal of experimental psychology** (ISSN:17470218) (2006-2014)
21. **Sociology** (ISSN:00380385) (2013-2014)
22. **Theory and society** (ISSN:03042421) (2013-2014, ProQuest 1997-2013)

④ 学術コンテンツ・ポータル (GeNii ジーニィ) のサービスが終了しました。

国立情報学研究所で提供している GeNii が 4 月 1 日で終了し

ました。ただし、以下のサービスは今までどおりお使いいただけます。

- ・ CiNii Articles - 日本の論文をさがす
- ・ CiNii Books - 大学図書館の本をさがす
- ・ KAKEN - 科学研究費助成事業データベース
- ・ JAIRO - 学術機関リポジトリポータル

⑤ 「ジャパナレッジ・プラス」の名称が変わりました。

4 月 1 日のジャパナレッジのサイトリニューアルに伴い、「ジャパナレッジ・プラス」は、「ジャパナレッジ・Lib」に名称が変更になりました。

《新規情報》

① 「Hein Online 米国税制・経済改革オンラインデータベース (Taxation & Economic Reform in America)」

現在の米国経済の状況につながる、18 世紀後半まで遡った米国の税制改革および経済政策に関する 900 巻以上、そして約 90 万ページの電子化された立法経緯の資料にアクセスできます。

収録内容は、18 世紀末の建国期における合衆国銀行の成立過程の資料に始まり、20 世紀初頭から 1970 年代までの内閣歳入法に関する資料、そして、1970 年代から 80 年代にかけてニクソンからレーガンの各政権で行われた税制改革に関する制定資料などが含まれます。

→ 米国税制・経済改革オンラインデータベースへは [こちら](#) から。

《更新情報》

① 「ebook collection」に「国史大系 (第二期・第三期)」が入りました。

昭和 4 年から刊行を開始し、昭和 39 年に完結した『新訂増補国史大系』(吉川弘文館) が以前から入っていた第一期と合わせ、全 66 冊、電子書籍で閲覧できます。

→ ebook collection へは [こちら](#) から

* 電子ジャーナルは新刊の発行や契約変更により収録範囲が頻繁に変わることをご了承ください。

◆◇ 4. 新規雑誌 (冊子体) 情報 ◇◇

* 保存年の延長または短縮のご要望があれば検討させていただきますので、雑誌係までお寄せください。

【新規受入雑誌】

- ① Nikkei Asian Review / 日本経済新聞 年内保存
- ② 消費経済研究 / 日本消費経済学会 [編] 長期保存
- ③ 当代経済 (ISSN:10079378) 長期保存
- ④ 中国労働 (ISSN:10078746) 長期保存
- ⑤ 中国外資 (ISSN:10048146) 長期保存
- ⑥ 今日上海 (ISSN:10072055) 5 年保存
- ⑦ 日経ビッグデータ / 日経 BP 社 5 年保存
- ⑧ IP = アイビー / 第一法規 長期保存
- ⑨ 企業リスク / トーマツ企業リスク研究所 [編] 5 年保存
- ⑩ 権=KAYA / 亜細亜大学国際関係学部 [編] (ISSN:21883122) 長期保存

【受入復活雑誌】

- ① 亜州週刊 (ISSN:10155015)



25 巻 49 号 (2011) 以降、購読中止でしたが、7 巻 13 号 (2013) より購読再開しました。
5 年保存

【バックナンバー】

- ① **Journal of cultural economics(Reprint edition)** /
Germantown, N.Y. (Springer) (ISSN:0885-2545)
1-35(1977-2011)
文部科学省からの補助金により購入しました。

【受入中止雑誌】

- ① **金融ビジネス** / 東洋経済新報社 (ISSN:09111239)
2011 年版を持ち、終刊となりました。
- ② **税経セミナー** / 税務経理協会 [編]
58 巻 10 号 (2013.9) を持ち、終刊となりました。
- ③ **創業家** / 中国人民大学書報資料中心 (ISSN:16744497)
2013 巻 12 号 (2013.12) を持ち、終刊となりました。
- ④ **大学野球熱闘史** / ベースボール・マガジン社
2 巻 16 号 (2013.9) を持ち、終刊となりました。
- ⑤ **東亜** / 霞山会 (ISSN:03873862)
551 号 (2013.5) を持ち、購入中止となりました。
- ⑥ **更生保護と犯罪予防** / 日本更生保護協会 [編]
(ISSN:09103457)
45 巻 (2012.2) を持ち、寄贈中止となりました。
- ⑦ **交流** / 交流協会 (ISSN:02899191)
867 号 (2013.6) を持ち、寄贈中止となりました。
以降は、[交流協会の HP](#) にて公開されます。
- ⑧ **家庭裁判月報** / 最高裁判所事務総局家庭局 [編]
(ISSN:04515234)
65 巻 8 号 (平成 26.3) を持ち、終刊となりました。
- ⑨ **研究紀要** / 関西国際大学 [編] (ISSN:13455311)
15 号 (2014.3) を持ち、寄贈中止となりました。
以降は、[関西国際大学機関リポジトリ](#) にて公開されます。
- ⑩ **同志社商学** / 同志社大学商学会 (ISSN:03872858)
65 巻 6 号 (2014.3) を持ち、寄贈中止となりました。
以降は、[同志社大学学術リポジトリ](#) (初号より検索可) にて公開されます。
- ⑪ **経済史研究** / 経済史研究会 [編] (ISSN:1344803X)
14 号 (2010) を持ち、寄贈中止となりました。
以降は、[大阪経済大学の HP](#) にて公開されます。
- ⑫ **Jica's world** / 国際協力機構 (ISSN:18832768)
60 号 (2013.9) を持ち、終刊となりました。
[独立行政法人国際協力機構の HP](#) (Jica's world) で公開されています。
→ 継続後誌「mundi」は、[国際協力機構 HP](#) (mundi) で公開されています。

◆◆ 5. 新着図書情報 ◆◆

新着図書は、図書館 HP より確認できます。
現物は、図書館 1F 「新着図書棚」に一定期間置かれ、その後各階に配架されます。

「図書館の PR 情報」はお休みいたします。

次号の Library mail は、7 月発行を予定しています。
今後取り上げて欲しい話題やお知りになりたい事がありましたらご連絡いただければ幸いです。どうぞよろしくお願いいたします。



亜細亜大学図書館メールマガジン Library mail 第 25 号
2014 年 4 月 30 日

ご意見、ご感想、配信中止のご連絡はこちらまでお願いします。
→ library@ml.asia-u.ac.jp 亜細亜大学学術情報課



2014 年 7 月 30 日

教職員各位

このメールは、図書館からの情報発信を目的としています。
新着図書や雑誌、オンライン等の情報を年 4 回に分けてお知らせします。

今回は、7-9 月の開館日程と図書館の情報です。

■□■□ 目次 ■□■□

1. 図書館からのお知らせ！
2. 7-9 月の図書館開館日程
3. オンライン情報
4. 新規雑誌 (冊子体) 情報
5. 新着図書情報
6. 図書館の PR

□■□■ ■ □ ■□■□

◆◆ 1. 図書館からのお知らせ！ ◆◆

- ① **新規オンラインデータベース「オンライン版 中国英字新聞コレクション」の契約手続きを進めています。**
→ 詳しくは、**「3. オンライン情報」**をご覧ください。

- ② **「図書館マナー強化月間」開催中です。**

以前から館内での私語や PC での動画閲覧など、勉強以外の用途で図書館を利用している学生が目立っています。そこで、定期試験で利用が増えるこの時期を「マナー強化月間」とし、学生の図書館利用の意識を変えてもらおうとキャンペーン期間を設けることにしました。

実施時期 : 6 月 30 日 (月) ~ 8 月 1 日 (金)

周知方法 : ACS II でのお知らせ / 館内ポスター

もし、館内で騒いでいるグループや飲食している学生などを見かけましたら、ひと声注意していただければと思います。(グループ単位で学習したいという学生には、「8F グループ学習会場」をご案内ください (オープン期間内のみ))

- ③ **8F 「グループ学習会場」オープン (～8 月 1 日 (金))**

試験期に入り、図書館への入館者も増えてきました。その混雑・喧騒の緩和のために、6 月 30 日 (月) ~ 8 月 1 日 (金) までの間、8F 青々会会議室を開放し、グループ学習室として運用します。グループで話しながら勉強したいという学生に案内をお願いします。

場 所 : 太田耕造記念館 8F 青々会会議室

期 間 : 6 月 30 日 (月) ~ 8 月 1 日 (金) 【土・日・特別開館日除く】

時 間 : 10:00 ~ 20:30 (閉館 30 分前まで)

- ④ **図書館 1F のコピー機を入退館ゲートの外 (1F 自動販売機のそば) に移動しました。**

- ⑤ **洋・華韓雑誌製本のお知らせ**

洋雑誌 / 華韓雑誌の製本作業を下記のとおりに行います。
ご迷惑をおかけいたしますがどうぞよろしくお願いいたします。

【洋雑誌】

製本対象年	2012 年
製本準備	2014 年 7 月
製本期間	2014 年 8 月
館内整理	2014 年 9 月 ~ 10 月

【華・韓雑誌】

製本対象年	2012 年
製本準備	2014 年 7 月
製本期間	2014 年 8 月
館内整理	2014 年 9 月 ~ 10 月



この期間にご利用になりたい方は、5Fカウンターまでお申し込み下さい。

時期によっては製本業者からコピーを取り寄せることもできます。

⑥ 学生の夏休みの間、近隣の中高一貫校へ図書館を開放します(登録制)

図書館では地域貢献活動の一環として、学生の夏休み期間を利用して大学図書館を体験してもらおうというプログラムを地域の中・高生に展開していきます。静かな学習空間の中で、専門書にふれる機会はもちろんのこと、視聴覚資料の視聴、(申出によっては)2Fラーニングコモンズや3F自習PCフロアの利用も可能になっています。

今回は一初年度ということでパイロットプログラムとして、現在職場体験を受入れている中学校(武蔵野市立第二中学校)と近隣で本学を受験している高等学校(田無高校・大成高校)にむけて下記のとおり案内をしています。

夏休み中、館内で中・高生を見かけましたら、温かく見守っていただければ幸いです。

記

- 1) 期 間 8月4日(月)～9月19日(金)の開館日
- 2) 時 間 10:00～19:00
- 3) 利用方法
 - ① 図書館ガイダンスを受け、登録した生徒に利用許可証を発行。
 - ② 図書館資料等の館内閲覧・利用が可能。貸出は不可。
 - ③ 館内PCの利用は、利用目的に応じて貸出可(応申出)
- 4) 利用ガイダンス日時・場所

8月4日(月) もしくは 5日(火) 10:15～1時間程度

亜細亜大学図書館 3階
 プレゼンテーションルーム① (中学生)
 プレゼンテーションルーム② (高校生)
- 5) 連絡先 学術情報課 坪内みゆき・藤懸徳仁・江野敬子

⑦ 7月26日(土)～9月18日(木)まで、ブックポストの位置が変わります。

7月26日(土)～9月18日(木)まで、ボックスカルバート工事に伴い、太田耕造記念館の職員通用口が使用できません。そこでこの期間に限り、正面入り口と学園史展示室の間の柱の位置に臨時のブックポストを設置しています。図書館閉館時の図書の返却にはこちらをご利用ください。ただし、ポストに入らない大型の本や、ポストがいっぱいで入らない場合などは、お手数ですが警備員室にお預けいただけますよう、お願いいたします。

◆◇ 2. 7～9月の図書館開館日程 ◇◇

■ 通常開館

7月1日(月)～8月2日(土)、9月22日(月)～

平 日 : 9:00～21:00

土 曜 日 : 9:00～19:00

(地下書庫・4Fフロアは閉館30分前まで利用できます)

休 館 日 : 日曜日

■ 夏期開館

8月4日(月)～12日(火)、8月18日(月)～29日(金)、
9月4日(木)～9月11日(木)、9月16日(火)～19日(金)

平 日

1・2・3・5・6・7F . . . 10:00～19:00

M2L . . . 12:00～18:00

4F・地下書庫 . . . 10:00～18:30

休 館 日 : 各土曜日・日曜日・祝日

8月13日(水)～8月15日(金)【一斉休暇】

9月1日(月)～9月3日(水)【蔵書点検】

9月12日(金)

(*蔵書点検期間中(9月1～3日)は2F(ノートPC)の貸出はありません)・3Fの利用ができます【10:00～15:30】

● 7月～9月の特別開館

特別開館: 7月6日(日)、13日(日)、20日(日)、27日(日)、8月23日(土)、24日(日)、9月21日(日)

9:00～17:00(4F・地下書庫は閉館30分前まで)

*2Fでのパソコンの貸出はありません。

*7月6日・27日は4Fは使えません。

開館カレンダーはこちらから→

<http://www.asia-u.ac.jp/library/calendar/>

◆◇ 3. オンライン情報 ◇◇

☆ . . . オンライン検索は学内専用です。ご自宅からの設定は別途お問い合わせください . . .

《新規情報》

① オンライン版「中国英字新聞コレクション (Chinese Newspapers Collection (1832-1953))」

中国で刊行された歴史的な英字新聞・雑誌12タイトルを提供。およそ120年間の政治、社会を明らかにする中国近代史の資料。清朝が終わりを告げるこの時代、アヘン戦争、太平天国の乱、義和団事変を経て、1911年には辛亥革命が起こり、中華民国が成立します。ここに収録される資料は、外国人の目を通して同時代の出来事をつぶさに伝えるものです。また、日中戦争から第二次世界大戦にいたる日本と中国との関係についての貴重な資料でもあります。

(日本総代理店: 雄松堂HPより)

→利用ガイドは[こちら](#)から

《特徴》

- * 中国の貴重な英文歴史資料をデジタル化
- * 記事のみならず、広告、論説、挿絵といった部分まで閲覧・検索が可能

＜収録タイトル (12タイトル)＞

1. North China Herald (1850-1941) 上海初の英字新聞。上海工部局の議事・判例等も掲載
2. The China Press (1925-1938)
3. China Critic (1939-1946)
4. China Weekly Review (1917-1953) 上海の英文時事論説誌
5. Chinese Recorder (1868-1940) プロテスタント宣教雑誌
6. Chinese Repository (1832-1851) プロテスタント宣教雑誌
7. Peking Daily News (1914-1917)
8. Peking Gazette (1915-1917)
9. Peking Leader (1918-1919)
10. Shanghai Times (1914-1921)
11. Shanghai Gazette (1919-1921)
12. Canton Times (1919-1920)

現在トライアル実施中です。トライアルは[こちら](#)から。

* トライアル後、そのまま本契約の予定です。

◆◇ 4. 新規雑誌(冊子体)情報 ◇◇

* 保存年の延長または短縮のご要望があれば検討させていただきますので、雑誌係までお寄せください。

【新規受入雑誌】



- ① ロシアNIS調査月報／ロシアNIS貿易会[編]
(ISSN:18814425)
【5年保存】
- ② ロシア・ユーラシアの経済と社会／ユーラシア研究所
[編] (ISSN:21858748)
【5年保存】
- ③ EMAC：エマック：emotion→action：当事者目線のインタビュー集／日本学生ボランティアセンター
【5年保存】
- ④ Accord tax review／アコード租税総合研究所[編]
【5年保存】
- ⑤ 販促会議：top promotion's／宣伝会議
【5年保存】
- ⑥ ガバナンス：21世紀の地方自治を創る総合情報誌／ぎょうせい[編] (ISSN:13464248)
【10年保存】
- ⑦ 月刊地方自治職員研修／公職研[編] (ISSN:13413929)
【10年保存】
- ⑧ 日経グローバル：地域創造のための専門情報誌／日経産業消費研究所 (ISSN:13494880)
【10年保存】
- ⑨ 生きがい研究／長寿社会開発センター[編集]
(ISSN:13414763)
【10年保存】
- ⑩ Forbes. Japan／アトミックスメディア
【5年保存】

【新規受入紀要】

- ① 高等教育フォーラム／京都産業大学教育支援研究開発センター[編] (ISSN:21862907)
【10年保存】
- ② 神戸国際大学紀要／神戸国際大学学術研究会[編]
(ISSN:09185208)
【10年保存】
- ③ 経営情報イノベーション研究／静岡県立大学経営情報イノベーション研究科 (ISSN:21072325)
【10年保存】
- ④ Aoyama journal of international studies／青山学院大学国際研究センター[編] (ISSN:21881960)
【10年保存】
- ⑤ 三重法経／三重短期大学法経學會 (ISSN:02875810)
【5年保存】
- ⑥ 中小企業支援研究／千葉商科大学経済研究所中小企業研究・支援機構 (ISSN:21885052)
【10年保存】
- ⑦ Aoyama business law review／青山学院大学大学院法学研究科ビジネスロー・センター[編]
【10年保存】

【受入中止雑誌】

- ① 大阪産業大学経済論集／大阪産業大学学会[編]
14巻3号(2013.10)を持ち、寄贈停止となりました。
以降は、[大阪産業大学学会論集データベース](#)にて公開されます。
- ② 大阪産業大学経営論集／大阪産業大学学会[編]
(ISSN:13451456)
15巻1号(2013.10)を持ち、寄贈停止となりました。
以降は、[大阪産業大学学会論集データベース](#)にて公開されます。
- ③ 会計検査研究／会計検査院 (ISSN:0915521X)
43号(2011.3)を持ち、寄贈停止となりました。
以降は、[会計検査院Webサイト](#)で閲覧可能です。
- ④ アジア・アフリカの言語と言語学／東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所[編] (ISSN:18813283)
7号(2012)を持ち、寄贈停止となりました。
以降は、[東京外国語大学図書館リポジトリ](#)で公開されます。
- ⑤ 人口問題研究／厚生省人口問題研究所[編集]
(ISSN:03872793)

70巻2号(2014.6)を持ち、寄贈停止となりました。
以降は、国立社会保障・人口問題研究所の[HP](#)で公開されます。

◆◆ 5. 新着図書情報 ◆◆

新着図書は、図書館HPより確認できます。

現物は、図書館1F「新着図書棚」に一定期間置かれ、その後各階に配架されます。

◆◆ 6. 図書館のPR ◆◆

第2弾 知っていると便利な機能

知っていると便利な図書館サービスの紹介をしていきます。
第七回目は、「2Fラーニングコモンズ」です。

2Fラーニングコモンズは、グループ学習を目的としたフロアです。

プロジェクターを使ったプレゼンテーションの練習が可能なエリアもあり、ノートパソコンの貸し出しサービスも行っています。

■ 開室時間

平日 9:00～21:00
土曜 9:00～19:00

※夏季休暇中 10:00～19:00

春季休暇中 9:00～17:00

※休館日：図書館のスケジュール通り

ただし、図書館の蔵書点検中の閉館時に開室する場合もありますので、カレンダーでご確認ください。

■ エリア案内

・ プレゼンテーションエリア

プロジェクターや電子黒板、ホワイトボードなどグループ学習に適した設備が設置されているエリアです。プレゼンの練習や事前打ち合わせ等ができます。

(授業での貸出は行っていない。授業で使用する場合は、教室をご利用いただくか、図書館3Fプレゼンテーションルーム1、2をご予約ください(5Fカウンター：内線2555))

・ グループ学習エリア

相談しながら学習のできるエリアです。机を組み合わせることで、複数人での学習が可能です。また、一部の机にはディスプレイが常設されており、ノートPCを接続することで、さらにグループ学習の効率を上げることができます。

エリアにあるホワイトボードやペンは自由に使うことができます。

いずれのエリアも自由に利用できます。ただし、ご利用にあたって以下の内容を禁止させていただいております。

- トランプや携帯ゲーム機での遊戯
- 周囲への迷惑行為
- ドリンクポリシーに違反する飲み物の持ち込み
- 携帯電話等による音声通話
- 混雑時等の動画閲覧

*混雑時、空きPC台数が少ない時、試験期間中は閲覧を制限します。

■ サービス案内

・ ノートPCの貸出 (60台)

利用者用にノートPCの貸出を行っています。学生証と引き換えにノートPCを貸出しますので、学生証を忘れずにお持ちください。貸出している間は学生証を受付でお預かり



します。

◇ 貸出ノート PC

受付場所 : 2F 受付カウンター

利用場所 : 図書館内 (1F を除く) のみ

貸出時間 : 開館時間～閉館 30 分前まで (当日の使用のみ)

返却時間 : 閉館 15 分前まで

*館外への持ち出しはできません。

★サービス対象者 (学生証を持っている利用者)

- ・ 本学の学部生、短大生、大学院生
- ・ 聴講生
- ・ 司書講習受講生
- ・ 委託生
- ・ 卒業生 (図書館利用証)

※ 教職員への貸出は行っておりません。

教員の方へは研究館 1F の講師控室で貸出を行っていただきますので、そちらをご利用ください。

・ iPad の貸出 (20 台)

プレゼンエリアを使用し、必要な方のみ貸出を行っています。(ノート PC と一緒に貸出することはできません)

◇ 貸出 iPad

受付場所 : 2F 受付カウンター

利用場所 : 2F プレゼンテーションエリア内

貸出時間 : 開館時間～閉館 30 分前まで

(当日利用のみ)

返却時間 : 閉館 15 分前まで

*プレゼンテーションエリア外への持ち出しはできません。

★サービス対象者

上記、貸出ノート PC 対象者と同じ

※ 教職員への貸出は行っておりません。

・ プレゼンテーションエリアの予約【利用可能人数: ~16 名】

教職員、ゼミ、クラブ等の利用は、”学習・研修が目的”であり、”授業外”での活動であれば予約することができます。

◇ 予約について

受付場所 : 2F 受付カウンター (内線 : 2620)

※ 30 分単位の利用となります

※ 一組 1 日最大で 3 時間までの利用が可能です。

※ 予約は 7 日前から受付いたします。

予約が入っていない時間は、開放しています。
個人での利用も可能です。

4 月から運用を開始したラーニングコモンズですが、連日大勢の学生で賑わっています。

グループでの課題作成やプレゼンテーションの練習など、今までの図書館では難しかった事もできるようになり、今後ますます需要の高まるエリアになることと思います。

プレゼンテーションの練習をしたい!、グループワークをしたい!という学生がいましたらこちらのエリアをご紹介いただければ幸いです。

次号の Library mail は、10 月発行を予定しています。今後取り上げて欲しい話題やお知りになりたい事がありましたらご連絡いただければ幸いです。どうぞよろしくお願いいたします。



亜細亜大学図書館メールマガジン Library mail 第 26 号

2014 年 7 月 30 日

ご意見、ご感想、配信中止のご連絡はこちらまでお願いします。

→ library@ml.asia-u.ac.jp 亜細亜大学学術情報課



2014 年 10 月 30 日

教職員各位

このメールは、図書館からの情報発信を目的としています。
新着図書や雑誌、オンライン等の情報を年 4 回に分けてお知らせいたします。

今回は、10-12 月の開館日程と図書館の情報です。

■□■□ 目次 ■□■□

1. 図書館からのお知らせ
2. 10-12 月の図書館開館日程
3. オンライン情報
4. 新規雑誌 (冊子体) 情報
5. 新着図書情報
6. 図書館の PR

□■□■ ■ □ ■□■□

◆◇ 1. 図書館からのお知らせ ◇◇

① 「図書館利用調査アンケート」の集計結果ができました。

6 月～7 月にかけて、Manaba を使った「図書館利用調査」アンケートを実施し、貴重なご意見を多数いただくことができました。ご協力ありがとうございました。
アンケート結果につきましては、先日図書館長 (長田先生) よりメールで配信されておりますので、ご覧いただければ幸いです。今後は寄せられたご意見を参考に、サービスの改善に努めてまいりますので、今後ともよろしくお願いいたします。

【調査方法・対象・期間】

- ・ Manaba を使用し、全学生および専任教職員に対してアンケートを実施。
- ・ 回答期間は 2014 年 6 月 1 日から 7 月 31 日までの 2 か月間。
- ・ [回答者数] 学生・・・978 名 教員・・・7 名
職員・・・13 名

*ご回答いただいた方の中から抽選で 20 名に、図書券を進呈させていただきました。

② 「マイライブラリ」に「マイフォルダ」機能が追加されます。

OPAC には、検索結果から必要なものをチェックし、一覧で確認できる「ブックマーク」という便利な機能がありますが、一度ブラウザを閉じると消えてしまいます。そこで、せっかく一覧で保存した内容が消えてしまうのは不便ということで、この「ブックマーク」を保存しておく場所として「マイライブラリ」内に「マイフォルダ」の機能を追加することになりました。

「マイフォルダ」機能

- ・ 登録しておける資料数は 100 点。
- ・ 資料名、資料情報、登録日、コメントが登録されます。
- ・ マイフォルダ管理から任意でフォルダの追加・削除・編集が可能です。
- ・ フォルダにも任意の名称が付けられます (「卒論」「レポート」など)

* 現在、業者に追加を依頼している段階です。実装には



もうしばらくお待ちください。

- ③ 本学が契約しているデータベース「EBSCOhost」に米国最大級の博士論文目録データベース「American Doctoral Dissertations 1933-1955」が追加されました。→ 詳しくは「3. オンライン情報」をご覧ください。

④ 6Fにある「法律PC」が復活しました。

長らくネットワークの問題で利用ができなかった6Fの法律専用PCが復活しました。

今までご迷惑をおかけして申し訳ございませんでした。

以下のタイトルが、PDFファイルにより紙面そのままを参照、印刷可能です。

号・頁・発行年・著者・論文/評釈全文からの任意語検索もできます。どうぞご利用ください。

1. ジュリスト DVD 創刊号 (1952. 1. 1) ~1435 号 (2011. 12. 15)
2. 金融商事判例 DVD 創刊号 (1966. 5. 2) ~1380 号 (2011. 12. 15)
3. 労働判例 DVD 創刊号 (1967. 3. 11) ~1034 号 (2011. 12. 15)
4. 法学教室 DVD 創刊号 (1980. 10. 1) ~306 号 (2006. 3. 1)
+第一期・第二期の16冊
5. 判例タイムズ DVD 創刊号 (1950. 4. 15) ~1357 号 (2011. 12. 15)
6. 金融法務事情 DVD 創刊号 (1953. 6. 15) ~1936 号 (2011. 12. 25)
7. 銀行法務 21DVD 創刊号 (1957. 10. 1) ~738 号 (2011. 12. 1)
8. 判例百選 DVD 「判例百選」201冊、「重要判例解説」41冊、「基本判例解説シリーズ」13冊、「単行シリーズ」2冊「基本判例シリーズ」5冊の合計262冊
9. 最高裁判所判例解説 DVD 民事篇・刑事篇 創刊号 (昭和29年度版 (昭和30年発行) ~平成12年
10. 邦文法律雑誌記事索引 (最高裁判所図書館編) 創刊号 (1958年 (昭和32年報)) ~48号 (平成16年版)
11. 法と民主主義(*) 創刊号 (1962. 1) ~460号 (2011. 7)
* 「法と民主主義」は他のDVDと違い、全て画像PDFファイルとなっていますので、文字列による検索はできません。「INDEX.pdf」に記載された目次などを手掛かりにして目的のページをお探しく下さい。

⑤ 「読書週間」が始まりました。

10月27日(月)~11月9日(日)は第68回読書週間です。今年の標語は「めくる めぐる 本の世界」本をめくるときにわくわくする気持ちを大切にしながら、たくさんの本の世界を巡ってきたいものです。秋の夜長、暖かい飲み物でも飲みながらご自宅で読書などいかがでしょうか?

⑥ ノーベル賞受賞者の所蔵情報

今年もノーベル賞発表の時期がやってきました。今年の物理学賞には、青色発光ダイオードの発明をされた赤崎勇先生(名城大)、天野浩先生(名古屋大)、中村修二先生(カリフォルニア大)の3人の日本人の研究者の方が選ばれ、世間の関心を集めました。せっかくの機会ですので、亜細亜大学図書館におけるノーベル各賞受賞者の所蔵情報を一部紹介します。

赤崎 勇氏 / 天野 浩氏 / 中村 修二氏【ノーベル物理学賞】

1. 青い光に魅せられて：青色LED開発物語
赤崎勇著. 日本経済新聞出版社, 2013. 3
7F 549.81/A 52
2. ごめん! : 青色LED開発者最後の独白

中村修二著. ダイヤモンド社, 2005

B2 和図書 507.23/G 62

3. 負けてたまるか! : 青色発光ダイオード開発者の言い分

中村修二著. 朝日新聞社, 2004 (朝日選書: 748)

B2 和図書 507/Ma 33

4. 真相・中村裁判

中村修二, 升永英俊著. 日経BP社, 2002

B2 和図書 507.23/Sh 69

* [公益社団法人応用物理学会のHP](#)で「2014年ノーベル物理学賞受賞」特集が公開され、3名に関連する記事や論文が紹介されています。

(このページ内のもに 대해서는, 2014年12月末までフリーアクセスで見られます)

ジャン・ティロー (Jean Tirole) 氏【ノーベル経済学賞】

1. The theory of corporate finance

Jean Tirole. Princeton University Press, 2006

B1 洋図書 336.8/Ti 6

2. The theory of industrial organization

Jean Tirole. MIT Press, 1988

B1 洋図書 335.3/Ti 6

3. 国際金融危機の経済学

ジャン・ティロー著/北村行伸, 谷本和代訳.

東洋経済新報社, 2007

B1 和図書 338.9/Ko 51

4. テレコム産業における競争

Jean-Jacques Laffont, Jean Tirole 著/上野有子訳.

エコノミスト社, 2003 (e ビジネス・シリーズ)

B1 和図書 694.1/Te 71

ほか

マララ・ユスフザイ (Malala Yousafzai) 氏 /

カイラシュ・サトヤルティ (Kailash Satyarthi) 氏【ノーベル平和賞】

1. わたしはマララ：教育のために立ち上がり、タリバンに撃たれた少女

マララ・ユスフザイ, クリスティーナ・ラム著

/金原端人, 西村佳子訳

学研パブリッシング/学研マーケティング (発売), 2013

7F 289.2/W 47

2. Malala : shot for going to school

original production by A BBC Production.

Maruzen [distributor], 2013

4F DVD DV289/Ma

◆◇ 2. 10-12月の図書館開館日程 ◇◇

○ 10月-12月 (通常開館)

平日 : 9:00~21:00

土曜日 : 9:00~19:00

(地下書庫・2F・4Fフロアは閉館30分前まで利用できます)

*休日授業日も通常開館となります。(10月13日(月)/11月24日(月)/12月23日(火))

休館日 : 各日曜日・祝日

冬休み期間中(12月26日(金)~1月8日(火))

特別開館 : 10月12日(日)、10月31日(金)~11月3日(月)

9:00~17:00

*10月12日(日)、11月3日(月)…4Fは閉館30分前まで利用できます

10月31日(金)~11月2日(日)…4Fは利用できません



冬休み貸出は12月6日(土)からになります。

学部・短大生 : 20冊

大学院生 : 30冊

年始は1月9日(金)より開館します。

開館カレンダーはこちらから

→ <http://www.asia-u.ac.jp/library/calendar/>

◆◆ 3. オンライン情報 ◆◆

☆・・・オンライン検索は学内専用です。ご自宅からの利用設定は別途お問い合わせください・・・☆

《追加情報》

- ① 「EBSCOhost」に米国最大級の博士論文目録データベース「American Doctoral Dissertations 1933-1955」が追加されました。

アメリカの大学で受理された博士論文の目録「Doctoral Dissertations Accepted by American Universities (DDAAU)」がデータベース化され、American Doctoral Dissertations 1933-1955として、EBSCOより提供されることになりました。EBSCOhostのプラットフォームを通じ、10万件を超える学位論文の書誌情報へアクセスすることができます。

American Doctoral Dissertations 1933-1955 とは・・・

1933年から1955年の間に受理された100,000件にのぼる博士論文を収録。この時期の博士論文の目録としては唯一にして最大規模の情報源です。通常のキーワードによる検索のほか、博士論文のタイトル、著者、および学校名を用いて検索することも可能です。

American Doctoral Dissertations 1933-1955 へは [こちら](#) から。

- * 図書館 HP メニュー・オンラインデータベース → EBSCOhost → 「Academic Search Elite 他 log in search!」からもアクセスできます。

*****これに関連して*****

ProQuestにも修士・博士論文を収録する書誌データベースがあります。

「ProQuest Dissertation and Theses A&I」

北米を中心に世界の1,700校以上の大学で学位認定された修士・博士論文の書誌情報をオンライン上で提供するデータベースです。

- * 図書館 HP メニュー・オンラインデータベース → ProQuest → 「博士論文&修士論文」からもアクセスできます。

*電子ジャーナルは、新刊の発行や契約変更により、収録範囲が頻繁に変わることをご了承ください。

◆◆ 4. 新規雑誌(冊子体)情報 ◆◆

【新規受入雑誌】

* 保存年の延長または短縮のご要望があれば検討させていただきますので、雑誌係までお寄せください。

- ① 亜細亜大学課程教育研究紀要/亜細亜大学課程教育紀要編集委員会[編] (ISSN:21888396)
【長期保存】

◆◆ 5. 新着図書情報 ◆◆

新着図書は、図書館HPより確認できます。

→ [新着図書\(7days\)](#)、[新着図書\(15days\)](#) <>

現物は、図書館1F「新着図書棚」に一定期間置かれ、その後各階に配架されます。

◆◆ 6. 図書館のPR ◆◆

第2弾 知っていると便利な機能

知っていると便利な図書館サービスの紹介をしていきます。第八回目は、「3F 自習 PC フロア」です。

4月に2F・4Fとともにリニューアルした3F自習PCフロアは、レポート・論文などを作成するためのフロアです。デスクトップパソコンが128台、ノートPCが20台、それぞれ機の両側に仕切りのあるブースに置いてあり、個別学習に集中することができます。図書館開館時間内であればいつでも使っていただけますので、PCの利用でお困りの学生が周りにいましたらご案内いただければ幸いです。

*こちらのフロアは、集中して学習できるよう私語は禁止となっています。学習相談など複数で作業をしたいという要望があった場合は、2Fラーニングコモンズをご案内ください。

■ 開室時間

平日 9:00~21:00

土曜 9:00~19:00

※ 夏季休暇中・春季休暇中は開室時間が異なります。図書館カレンダーでご確認ください。

※ 休館日：図書館のスケジュール通り

ただし、図書館の蔵書点検中の閉館時に開室する場合もありますので、図書館カレンダーでご確認ください。

■ フロアの利用について

自由にご利用いただけます。ただし、ご利用にあたって以下の内容を禁止させていただいています。

- 私語
- トランプや携帯ゲーム域での遊戯
- 周囲への迷惑行為
- ドリンクポリシーに違反する飲み物の持ち込み
- 携帯電話等による音声通話
- 混雑時の動画閲覧

*混雑時、空きPC台数が少ない時、試験期間中は閲覧を制限します。

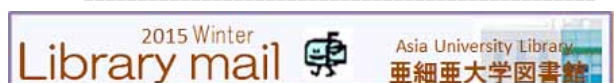
こちらのフロアは、連日たくさんの学生でにぎわっていますが、人がたくさんいるとどうしてもしゃべってしまうのか、アンケートではしゃべり声が気になるとの意見が多数ありました。こちらでも注意はしていきますが、学生にフロアのご案内をしていただく際、「私語禁止フロア」ということを一言お声掛けいただければ幸いです。

次回のLibrary mailは、来年1月発行を予定しています。今後取り上げて欲しい話題やお知りになりたい事がありましたらご連絡いただければ幸いです。どうぞよろしくお願い致します。



亜細亜大学図書館メールマガジン Library mail 第27号
2014年10月30日

ご意見、ご感想、配信中止のご連絡はこちらまでお願いします
→ library@ml.asia-u.ac.jp 亜細亜大学学術情報課



2015年1月30日

教職員各位

このメールは、図書館からの情報発信を目的としています。新着図書や雑誌、オンライン等の情報を年4回に分けてお知らせいたします。



籍や、無料公開電子情報で「EBSCO A to Z」に掲載可能なものを、タイトルのABC順に一覧化し、横断検索で全文（本文）まで提供するサービスです。

当AtoZには和洋電子ジャーナルだけでなく、和洋電子ブック、C i N i i掲載の国内刊行紀要や学会誌、日経BPや東洋経済デジタルコンテンツライブラリー掲載の和雑誌等も含まれております。

大変便利になっておりますので是非ご活用ください。

【アクセス方法】

図書館 HP 左側メニュー → オンラインデータベース
→ EBSCO A to Z

【検索方法】

1. トップ画面の検索窓にタイトルを入れて検索する。
2. 検索窓の下アルファベットもしくはひらがなからタイトルの頭文字をクリックして一覧を出す。
の2つの方法があります。

この「EBSCO A to Z」で何が検索できるかは、検索画面上部の「インデックス」タブをクリックすると、収録データベース名とタイトルリストを見ることができます。

また、「このサイトについて」タブをクリックすると、トップ画面の説明が見られます。

図書館に所蔵していない雑誌や図書なども探せる場合もありますので、亜大OPACと同様、こちらのデータベースも是非お使いください。

次号のLibrary mailは、新年度の4月発行を予定しています。

今後取り上げて欲しい話題やお知りになりたい事がありましたらご連絡いただければ幸いです。どうぞよろしくお願いいたします。



=====

亜細亜大学図書館メールマガジン Library mail 第28号

2015年1月30日

ご意見、ご感想、配信中止のご連絡はこちらまでお願いします。

→ library@ml.asia-u.ac.jp 亜細亜大学学術情報課

=====



図書館日誌 2014/2015 <1>						
月	図書館全体	関係団体会議等出張記録	庶務チーム			
4	1 入学式 3 食堂棟地下書庫打ち合わせ(文芸室) / 場所: 8階青々会事務室 7 館長引継ぎ打ち合せ: 徳永先生・長田先生 / 場所: 館長室 8 LIFO研修(人事課) / 場所: 太田記念館3階プレゼンⅡ 9 太田記念館 2 階・3 階・4 階お披露目会 10 前期始業 食堂棟地下書庫打ち合せ: 管財課・東急建設 / 場所: 旧教職員食堂 15 館長会議: 館長・宇田川・安田・坪内 / 場所: 館長室 17 食堂棟地下書庫打ち合わせ(文芸室2名) / 場所: 館長室 21 期首面接 / 場所: 館長室 22 図書館運営委員会 / 場所: 4 階ミーティングルーム 24 食堂棟地下書庫打ち合わせ(金剛) / 場所: 館長室	22 セミナー・専門図書館協会 I C グ / 場所: 日本図書館協会	2 新規業務委託概要説明: 小笠原・坪内 / 場所: 館長室 金剛/小崎様新食堂地下書庫打ち合わせ 3 新規アルバイト面接 / 場所: 館長室 4 新規アルバイト面接 / 場所: 館長室 7 4階大新書架増設の調査金剛 / 場所: 4階 18 pals(ABC)点検: I D E C 松尾様他1名 / 場所: 1階と7階のpals			
	5	2 館長授業日(土曜日の時間割) 7 図書館アンケート会議 / 場所: 館長室 9 4階大新書架増設工事(3階6階工事含む) 金剛 食堂棟地下書庫打ち合わせ(文芸室) / 場所: 館長室 15 館長先生の歓迎会 / 場所: 武蔵境 道子 20 職場体験(武蔵野市立第二中学校) 2年生4名 21 職場体験(武蔵野市立第二中学校) 2年生4名 27 食堂棟地下書庫打ち合わせ(文芸室) / 場所: 館長室 図書館運営委員会 / 場所: 4 階ミーティングルーム	30 専門図書館協会定期総会 / 場所: 東京商工会議所 日本図書館協会(短大高専図書館部会) / 場所: 日本図書館協会会議室	14 退館ゲート修理: I D E C / 場所: 1階 23 プリザーベーションテクノロジー脱酸処理資料搬出 / 場所: 8 階貴重書室 金剛 地下書庫修理93番(午前中) / 場所: 地下2階 31		
		6	3 食堂棟地下書庫打ち合わせ(文芸室) / 場所: 館長室 5 食堂棟地下書庫打ち合わせ(金剛) 6 図書館学インターナショナル(学術情報課) / 場所: プレゼン② 12 食堂棟地下書庫打ち合せ: 管財課・東急建設 / 場所: 旧教職員食堂 13 図書館学インターナショナル(学術情報課) / 場所: プレゼン② 18 食堂棟地下書庫打ち合わせ(金剛) / 場所: 館長室 20 図書館学インターナショナル(学術情報課) / 場所: プレゼン② 22 特別開館 24 図書館運営委員会 / 場所: 4 階ミーティングルーム 27 図書館学インターナショナル(学術情報課) 場所: プレゼン②	3 私立大学等経常費補助金説明会 / 場所: 文京大学 4 私立大学等経常費補助金説明会 / 場所: 文京大学 6 New Education Expo / 場所: 国際展示場 11 東京女子体育大学書架調査(手動) 12 西部地区加盟会議・情報交換会 / 場所: 国立音大 13 東京経済大学書架調査(電動) 14 私立大学図書館協会東地区総会 / 場所: 成蹊大学 23 キリア・ディベロップメント研修 / 場所: 福岡シーホーク 28 私大連アドミニストレーター研修 / 場所: セミナーハウスクロス・ウェーブ梅田	30 金剛/地下2 階書架修理の為来学 / 場所: 地下2 階	
			7	4 図書館学インターナショナル(学術情報課) / 場所: プレゼン② 6 特別開館 10 台風8号の接近により図書館は午後6時で閉館 11 図書館学インターナショナル(学術情報課) 13 オープンキャンパス・特別開館 18 休日授業日(月曜日の時間割) 19 図書館監視カメラ設置の打ち合わせ: 金剛/ 場所: 館長室 20 図書館学インターナショナル(学術情報課) 21 オープンキャンパス・特別開館 22 休日授業日 26 図書館運営委員会 / 場所: 4 階ミーティングルーム 夏季工事の為臨時職員通用口使用開始・臨時ブックポスト運用開始 28 前期定期試験期間	4 第10回学術情報リユースセミナー2014: サンメディア / 場所: 東京会場(日本橋三井ホール) 国際電子出版EXPO/東京国際ブックフェア / 場所: 東京ビッグサイト 「就職支援に役立つデータベースセミナー」(日本経産協会) / 場所: プロテックスセンター(浜松町) 6 講演会「子どもの読書活動と図書館の可能性」 / 場所: 国際こども図書館 8 専攻協研修 / 場所: 機械振興会館(浜松町) 9 専攻協研修: 木野村(直行) / 場所: 機械振興会館(浜松町) 11 JMOOCワークショップ / 場所: 御茶ノ水 明治大学薬学部3階 12 私大連フォーラム / 場所: 愛知 名古屋 名古屋学院大学 16 オイス防炎 E X P O オフィスセキュリティ E X P O / 場所: 東京ビッグサイト 17 オイス防炎 E X P O / 場所: 東京ビッグサイト 18 三木大成賞授 宛本理事長・通称校長訪問 24 コー・Lmediotセミナー; 木野村 藤懸 坪内 25 丸善アカデミックリユースセミナー / 場所: 千代田区立日比谷図書文化館	2 アイテック 谷様 入退館システム点検 / 場所: 1 階 4 館内監視カメラ視察: 金剛 12 8 階貴重書室架組の修理: 東急建設 川上様 / 場所: 8 階貴重書室
				8	1 利用費アンケート打ち合せ / 場所: 館長室: 館長・宇田川・安田・藤懸・北川・坪内 4 中高生受入ガイダンス: 江野・藤懸・坪内 / 場所: プレゼン①② 5 中高生受入ガイダンス: 江野・藤懸・坪内 / 場所: プレゼン①② 11 地域対応として開館(10:00~19:00) 23 オープンキャンパス 24 ↓	6 研修: 私大連アドミニストレーター研修: 藤懸 / 場所: 私学会館 7 ↓ 8 ↓ 20 ↓ 21 ↓ 22 ↓ 28 私立大学図書館協会総会・研修発表: 館長・藤懸・坪内 / 場所: 岡山理科大学 29 ↓
9					1 蔵書点検 ↓ ↓ ↓ 5 ↓ 18 夏季工事の為臨時職員通用口使用終了・臨時ブックポスト運用終了 19 卒業式(9月卒業) 21 オープンキャンパス 23 休日授業日(火曜日の時間割) 25 館長会議: 館長・宇田川・安田・坪内 / 場所: 館長室 29 会計監査: 安田・坪内 / 場所: 館長室 30 図書館運営委員会 / 場所: 4 階ミーティングルーム	8 書記・書記補研修: 川北 10 版元提案説明会: 課長 / 場所: 学術総合センター棟講堂中会議場 11 版元提案説明会: 佐々木 / 場所: 学術総合センター棟講堂中会議場 ↓ 5 育英英会施設見学(防災対策) / 宇田川・坪内 / 場所: 館内 ↓ ↓ ↓ 24 補助金協議会: 宇田川・坪内 / 場所: アルカディア市谷 26 日本図書館協会(短大高専図書館部会): 藤懸
	10				6 ※台風18号の影響による全学休講措置に伴い終日閉館。 8 学術情報部歓迎会 / 場所: 武蔵境 木間 13 休日授業日(月曜日の時間割) ↓ ※台風19号の接近により18時で図書館は閉館。 20 館長会議: 館長・館長・坪内 / 場所: 館長室 23 館長会議: 館長・市川・安田・坪内	10 見学: 同志社大学ラウンジ commons: 藤懸 / 場所: 同志社大学 研修: 私大連アドミニストレーター研修: 藤懸 / 場所: セミナーハウスクロス・ウェーブ 11 梅田 12 危機管理産業展: 加藤 / 場所: 東京ビッグサイト西1・2 ホール 16 紀伊國屋書店講演会: 市川 / 場所: アルカディア市谷 ↓ AUA発表会: 木野村(直行) / 場所: プレゼン① ↓ 日本図書館協会(全国大会) / 市川・坪内・館長・藤懸(短大大会) / 場所: 明治大学 31 西部地区セミナー: 木野村(11:45発) / 場所: 明星大学
		11			2 特別開館 3 オープンキャンパス 7 文科省実地視察(教職課程) / 市川・中村・坪内 24 休日授業日(月曜日の時間割) 25 図書館運営委員会 / 場所: 4 階会議室	1 日本図書館協会(全国大会) / 市川・坪内・館長・藤懸(短大大会) / 場所: 明治大学 5 図書館総会展/市川・直取・長谷川/バシコ横濱 6 図書館総会展: 木野村(直行横濱) / 場所: バシコ横濱 18 C S 研究協議会書架物品活用講座《E x e l セットビル分析》: 坪内 安田 / 場所: 浜松町 20 西部地区セミナー: 木野村(11:45発) / 場所: 明星大学
			12		8 公認会計士往査(江口先生) / 市川・安田・坪内 / 場所: 館長室 10 図書館実査 図書資料30冊の実査(峰先生) / 市川・安田・坪内 / 場所: 館長室 23 休日授業日(火曜日の時間割) 25 館長授業日(土曜日の時間割)	5 NRAフォーラム: 木野村・館長 / 場所: ヘルサル藤田橋 6 研修: 私大連アドミニストレーター研修: 藤懸 ↓ 10 NII学術情報データベース研修: 木野村 / 場所: NII(竹橋駅) 12 ↓
				1	20 図書館運営委員会 / 場所: 4 階ミーティングルーム	
2					20 期末育成面接	20 法令会議資料資料研修(長谷川) / 場所: 国会図書館 23 全国大学図書館コンソーシアム連合(JUSTICE) 総会: 木野村11:30-直帰 / 場所: 国立情報学研究所(竹橋)
	3				24 会計監査監査点検報告: 江口先生 財務課長 坪内 安田 / 場所: 館長室 31 中国へのお贈り: 日本科学協会: 大石・坪内 / 場所: B1	3 共読ライブラリーから考える大学図書館の成長戦略/市川/日比谷図書館文化館 11 日本図書館協会(短大高専部会): 藤懸 / 場所: 飯田橋リアル会議室 23 全国大学図書館協会連合会日本部研究会: 加藤 / 場所: 武蔵野美術大学新 宿テラヒット



図書館日誌 2014/2015 <2>

月	レファレンスチーム	図書受入・データチーム	逐次刊行物チーム
4	1 オートリックス3月ILL相殺複写代行明細書チェック 2 図書館ポレン (大学院: プレ③) 3 図書館ポレン (経済: 521教室) 4 図書館ポレン (別課: 館内) 5 日本図書館協会調査書票回答 6 2014文科省完成年度設置履行状況報告 7 図書館ポレン (新任教員: 館内) 8 図書館ポレン (国際関係: 7号館) 9 JUSTICE: CLOCKSS参加意向調査不参加回答 10 CNKI PDF表示ソフトV.1.1 (5F検索PCDL) 11 ビジネスリテラシー (A,B,D,E,G,I,J: 各教室) 12 ビジネスリテラシー (F: 各教室) 13 ビジネスリテラシー (ホスピタリティ: 各教室) 14 ビジネスリテラシー (M: 教室) 15 ビジネスリテラシー (C,H: 各教室) 16 Integrum稼働確認書提出	3 通書会議 (1572) 10 通書会議 (1573) 情報・語学関係除籍図書50箱売却準備 17 通書会議 (1574) 21 4階木製書架増設調査/金剛 24 通書会議 (1575) 定例会 (紀伊國屋書店) 25 図書館総合演習 30 第一法規差替作業	8 逐次刊行物打合せ: 2014年度業務項目出だし等 / 場所: 4Fミーティングルーム 2012年製本和雑誌納品: 美装社 11 JUSTICE: CLOCKSS参加意向調査提出切迫: 不参加 15 監査資料打合せ: 和雑誌通及登録資産の扱い検討: 別冊ジリスと増刊等2冊: 宇田川部長、坪内課長、安田、田村 (洋)、佐々木 23 アジア地域図書逐次刊行物の依頼 (アジア研究所→坪内課長から) 24 和製本雑誌蔵書点検結果 (最終): 共有ファイルアップ
5	1 オートリックス4月ILL相殺複写代行明細書チェック 2 ゼミガイダンス (坪田) 3 ゼミガイダンス (松本: 7404) 図書館調査票提出 14 ポレンゼミ (法1: 7408) 15 ゼミガイダンス (古井) 16 ポレンゼミ (法1: 7404) 図書館ガイダンス (国1: 7406) 20 ポレンゼミ (法1: 7401) 21 8F民謡コレクションの扱いを毛利氏に確認 23 ポレンゼミ (法1: 7404) 図書館ガイダンス (国1: 7406) 27 ポレンゼミ (法1: 7401) 28 ポレンゼミ (法1: 7405) 30 ポレンゼミ (法1: 7404) 図書館ガイダンス (国1: 7406)	8 通書会議 (1577) 9 4階木製書架増設工事/金剛 15 通書会議 (1578) 22 通書会議 (1579) 所在に関するミーティング 29 通書会議 (1580)	9 リュース雑誌頒布準備・教職員へお知らせメール 12 JUSTICE: 平成26年度契約状況調査依頼(締切6/13) リュース雑誌頒布準備 13 リュース雑誌頒布準備: ACS2, HP告知 14 リュース資料頒布開始/図書・雑誌・新聞: 3F 20 職場体験 (武蔵野市立第二中学校) 2年生4名 21 職場体験 (武蔵野市立第二中学校) 2年生4名 29 西地区アンケート調査回答: 円安と消費税への対応/雑誌(冊子)・DB・OJ予算 30 国立国会図書館デジタル化資料送信サービス調査
6	1 オートリックス5月ILL相殺複写代行明細書チェック 3 ポレンゼミ (法1: 7401) 4 ポレンゼミ (法1: 7408) 9 図書館ガイダンス (留学生別科) 9 JUSTICE: 平成26年度契約状況調査回答 10 ポレンゼミ (法1: 7401) 13 Web講習会: EBSCOオンラインデータベース (13:19-24日) 11 ポレンゼミ (法1: 7408) 17 ポレンゼミ (法1: 7401) ゼミガイダンス案内通知 17 日経NEEDS-FinanciaQUEST (RQ) を学外から接続できない状況調査	5 通書会議 (1581) 6 図書館学インターンシップ ティスカ/リサーチ/Primo説明会 (エゴ川) 12 通書会議 (1582) 13 図書館学インターンシップ 17 定例会 (紀伊國屋書店) 19 通書会議 (1583) 20 図書館学インターンシップ 26 通書会議 (1584) 27 図書館学インターンシップ	3 私立大学等経常費補助金説明会: 木野村(11:20-) / 場所: 文京大学 New Education Expo: 木野村 / 場所: 国際展示場 6 図書館学インターンシップ (学術情報課) / 場所: プレゼ② H26JUSTICE契約状況調査回答: 佐々木 9 図書館学インターンシップ (学術情報課) / 場所: プレゼ② 13 図書館学インターンシップ (学術情報課) / 場所: プレゼ② 20 図書館学インターンシップ (学術情報課) / 木野村、田村 / 場所: プレゼ②雑誌1 27
7	4 「就職支援に役立つデータベースセミナー」(日本能率協会) 出張 7 教員新規希望DB調査「[South China Morning Post]」JDBトライアル開始 8 「Chinese Newspapers Collection (中国英字新聞コレクション)」JDBトライアル開始 10 オートリックス6月ILL相殺複写代行明細書チェック・ILL相殺料金相殺 結果通知書を財務へ提出 10 台風8号接近により図書館短期閉館 (午後6時) 10 就活文献セミナー (7401) 16 オーク情報サービスから「順天時報」情報収集 23 ゼミガイダンス (白井: 7407) 23 ゼミガイダンス (荒井: プレ①) 29 日経テレビエコノミクス & A 情報」からの説明 30 2015SDS契約意向調査回答	2 研究空実り図書相殺 (B1) 3 通書会議 (1585) 4 図書館学インターンシップ 10 通書会議 (1586) 11 図書館学インターンシップ 17 通書会議 (1587) 18 図書館学インターンシップ 24 通書会議 (1588) 定例会 (紀伊國屋書店) 31 通書会議 (1589) 所在に関するミーティング	4 第10回学術情報リレーションセミナー2014: サマディ/佐々木 / 日本橋三井ホール 図書館学インターンシップ (学術情報課) / 場所: プレゼ② 6 講演会「子どもの読書活動と図書館の可能性」: 江野 / 国際こども図書館 8 エゴ川 (株): 東郷: 江野 春回協研修: 木野村 / 機械振興会館(浜松町) EBSCO顧客: 定期訪問/ティスカ/リサーチ/Primo新情報 9 春回協研修: 木野村 / 機械振興会館(浜松町) 雄松堂書店: 田中氏 / 中国英字新聞DB契約関係 11 図書館学インターンシップ (学術情報課) 中国雑誌製本準備 (読合せ): 高橋、田村 / 場所: 7F中国資料室 16 雄松堂書店/田中氏、7F/エゴ川/早川氏: 中国英字新聞DBプラットフォーム関連 オーク情報サービス/佐々木氏: 「順天時報」情報収集 18 エゴ川来校: 江野・坪内 図書館学インターンシップ (学術情報課) 22 ProQ早川: 第一次回答/中国英字新聞関係 (口頭) 23 スエツインフォメーションサービス: 北氏 / 江野・佐々木 24 コー・Llmedeoセミナー: 木野村 25 丸善アカデミックリレーションセミナー: 木野村 / 場所: 千代田区立日比谷図書館 プロクエスト: 早川氏 / 中国英字新聞(CSF) / 佐々木 26 司書講習受講: 木野村 (7/26~9/18) 和記要所在分割に伴うデータ修正終了 31 D B中国英字新聞CSF契約書関係: 営業本部長中野氏、田中氏 / 佐々木
8	1 オートリックス7月ILL相殺複写代行明細書チェック	7 通書会議 (1590) 25 新日本法規出版差替 26 ぎょうせい差替	1 雄松堂田中氏: D B中国英字新聞社印付「見直し」持参 4 社会人アルバイト不在(8/4~31) 中島生受入ガイダンス: 江野 7 教員新規希望DB調査依頼「[South China Morning Post]」[南清早報]→南早早報」 (1903-1955+): 佐々木 8 各新聞販売所へ図書館一斉休業中の留意依頼: 期間: 8/13-17 2014/レコ7M&Aデータベース利用契約申込書FAX: 佐々木 18 新聞通常配達再開日+留意き分の配達 19 2012年製本雑誌<168冊>+和雑誌 (単報) 納品: 美装社 / 場所: 中国資料室 雄松堂書店田中氏: D B中国英字新聞契約書3点引取
9	1 圖書点検~9/5 (全員: 6&7F)。オートリックス8月ILL相殺複写代行明細書チェック。新規 契約: Chinese Newspapers Online 10 9月卒業判定結果リストにより借伏伏致送 (上旬) 19 返却図書督促配布を教務課へ依頼(9月卒業式) 30 ゼミガイダンス (川又: プレ③)	4 通書会議 (1591.1592) 25 通書会議 (1593.1594)	5 雄松堂書店田中氏: D B中国英字新聞DB英文契約書、請求、納品、見積、移動確認書持参 版元提案説明会: 佐々木 / 場所: 学術総合センター一機講堂中会議場 11 エミラルド/秋原氏: 木野村、江野 日経メディアマーケティング/片寄氏/日経テレビエコノミクス & A 情報」説明: 坪内、江野、佐々木 29 2015SDS契約意向調査回答期限 (エゴ川・ベアメール添付要回答): 佐々木 30



10	1	オーエリックス9月ILL相殺複写代行明細書チェック	1	定期人事異動 (川北→熊谷 廣取)	10	丸富2015洋雑誌見稿6月相談/平岩氏:木野村
	1	図書館がイタズ (多1:7408)	1	課内人事異動 (江野→藤懸)	16	物理学関係雑誌について/稲本先生、吉田先生:木野村
	1	課内人事移動 (藤懸→佐々木5月フルペン・ILL)	2	第一法規差替え	22	NIJオーブ・アクセスサミット (2部):木野村/場所:NIJ
	6	台風18号の影響による全学休講措置・終日閉館	2	部長へ業務説明	27	南リコ-中西氏; 課長 田村 藤懸
	13	ゼミガイダンス (小野:フレ①)。台風接近により18時間閉館 (短縮)	8	ぎょうせい差替え		AUAP提票:木野村 (10/27~11/3)
	14	基礎演習 (法1:7408)	9	演習会議 (1595)		
	15	図書館がイタズ (多1:7408) 基礎演習 (法1:7408)	16	演習会議 (1596)		
	17	基礎演習 (法1:7404)	22	演習基準に関するヒアリング (慶應大学田村先生:大石 藤懸)		
	20	ILL相殺料金相殺結果通知書を財務へ提出。DB利用説明会企画提案	23	演習会議 (1597)		
	21	基礎演習 (法1:7408)	30	Limited(→)ジョブアップ打合せ (リコ- 藤懸)		
11	22	基礎演習 (法1:7408)		定例会 (紀伊國屋書店)		
	23	プレゼン1～Ⅱへの運用要望 (教員)				
	24	基礎演習 (法1:7404)				
	28	基礎演習 (法1:7408)				
	28	2015 新聞冊子 (原紙):縮刷版購読中止提案				
	29	基礎演習 (法1:7408)				
	30	平成26年度学術情報基盤実態調査依頼 (提出締切11/7)				
12	1	オーエリックス10月ILL相殺複写代行明細書チェック	6	演習会議 (1599)	2	Elsevier Scopus契約書サイン:市川部長
	17	基礎演習 (法1:7404)	8	第一法規差替え	6	職場体験 (小金井市立第二中学校 2年生3名)
	17	基礎演習 (法1:7408)	13	演習会議 (1600)		図書館総合展:木野村/場所:パシフィコ横浜
	25	ゼミガイダンス (川又:フレ③)	20	演習会議 (1601)	7	職場体験 (小金井市立第二中学校 2年生3名)
			27	演習会議 (1602)		図書館総合展:田村/場所:パシフィコ横浜
					11	職場体験 (部立武蔵高校附属中学校 2年生3名)
						インフォコム打合せ:江野・木野村・坪内
					12	リサイクル資料の精込み:3F (紀要)・5F (新聞等)・8F (タナホル)・小笠原・木野村・江野・熊谷・田村
					13	職場体験 (部立武蔵高校附属中学校 2年生4名)
						リサイクル資料1Fへ運び出し (フレ①・②より):逐野チーム+応援部隊
1	1	オーエリックス11月ILL相殺複写代行明細書チェック	4	演習会議 (1603)	2	オーグ情報サービス/高橋様:江野
	3	就活文庫セミナー (7401)	11	演習会議 (1604)	5	2015Hein参加申込書提出 (コンソーシアム参加締切日):佐々木
	4	ゼミガイダンス (角田:フレ①)		実習準備		NRAフォーラム:木野村/場所:ベルサール飯田
	5	Heinコンソーシアム参加申込書提出。レファレンスチーム予算提出	12	図書館実態 図書資料30冊の実査 (峯先生)	10	NIJ学術情報データベース研修:木野村/場所:NIJ
	10	TKC DB職員向け2015商品説明会:『判例百選』(2F)	18	演習会議 (1605)		TKC DB職員向け利用説明・2015新規 判例百選 含む/横市氏
	11	ゼミガイダンス (栗原:フレ③) ゼミガイダンス (中野:フレ①)		Limited(→)ジョブアップ打合せ (リコ- 藤懸)	11	NIJ学術情報データベース研修:木野村/場所:NIJ
	16	ゼミガイダンス (権丈:フレ①)	19	定例会 (紀伊國屋書店)	12	NIJ学術情報データベース研修:木野村/場所:NIJ
	22	ゼミガイダンス (香川:フレ①)	22	Limited課内打合せ (熊谷 藤懸)	24	新聞販売所へ留置き依頼:期間12/26~1/7
			25	図書移設作業計画打合せ②		
2	1	オーエリックス12月ILL相殺複写代行明細書チェック	8	演習会議 (1607)	19	保存年切れ必要の抽出作業開始:佐々木
	13	ゼミガイダンス (鈴木:フレ①)	15	演習会議 (1608)	21	職場体験 (小金井市立緑中学校 1年生):江野・木野村
	15	ゼミガイダンス (鈴木:フレ①)	16	Limited課内打合せ (熊谷 藤懸)	21	職場体験 (小金井市立緑中学校 1年生):江野・木野村
	16	ゼミガイダンス (日井:フレ①)	22	演習会議 (1609)	23	週及関連データの打合せ:小石・坪内・大石・熊谷・江野・田村
	19	東洋経済データベース講習会 (フレ①)	23	週及関連データの打合せ (大石・熊谷)	28	Elsevierサイエンススタイル契約説明/紀伊國屋太田重氏:坪内・田村・木野村
	20	日経 B P データベース講習会 (フレ①)	29	演習会議 (1610)	30	和雑誌 (2013年) 製本読合せ:江野・田村/場所:7F中国資料室
	20	ILL相殺料金相殺結果通知書を財務へ提出				
	21	ILL料金相殺サービス館長交代申請内容変更処理(WEB)				
	22	就活文庫セミナー (7408)				
	26	「国本」,「国本新聞」貴重書 (太田文庫) 資料状況調査・ILL提供方法検討				
3	1	オーエリックス1月ILL相殺複写代行明細書チェック	3	AV資料のCD-ROM等散在している資料の整理	3	AV資料のCD-ROM等散在している資料の整理
	7	中国人留学生館内ツアー(小中学生+父母+教員の修学旅行)		原簿にある資料の除籍処理 (メン:大石 全員 ~4日まで)	4	AV資料のCD-ROM等散在している資料の整理/原簿に登録済み資料の除籍処理:大石・江野・田村
	8	2015図書館利用案内出版(日本語版・4か国語版)	5	演習会議 (1611&1612)	5	保存年切れ必要・雑誌・新聞抜出巻・冊数確認作業:木野村・佐々木 (2/4~5)
	10	書架充足状況調査(7・6・B1・B2F) ~3月14日		寄贈図書受取 (武蔵野市図書交流センター 藤懸)	9	和雑誌 (2013年) 製本の抽出:美栄社
	19	法令議会資料資料研修出版:国会図書館 (~20)	12	研究室図書受取 (三浦先生 藤懸)	13	保存年切れ雑誌・新聞の抽出・作業 (2/9~12)
	20	「就活応対コーナー」を1階に設置 (~3/6)	20	定例会 (紀伊國屋書店)	16	保存年切れ雑誌・新聞の抽出・作業確認
	20	図書館収集品蔵CD-ROMの保存・利用に関して提案		演習会議 (1613&1614)	17	保存年切れ雑誌・新聞のデータ削除作業 (2/16~20)
	25	個別返却督促状(全学部) 判定資料に同封を教学へ依頼	23	Limited課内打合せ (熊谷 藤懸)		学部資料室へ資料確認:荒井先生/江野・田村/場所:短大資料室
			24	Limited統合認証連携会議 (藤懸)	18	学部資料室へ資料確認:長田先生/江野・田村/場所:教養部資料室
			25	Limited説明会:全体 (プレゼン①)		保存年切れ必要のデータ削除 (2/19~20)
			26	演習会議 (1615)	19	保存年切れ必要・雑誌・新聞の所蔵データ修正 (2/23~24)
3	1	オーエリックス2月ILL相殺複写代行明細書チェック	5	演習会議 (1616)	23	大学図書館コンソーシアム連合 (JUSTICE) 総会:木野村/場所:国立情報学研究所
	2	国会図書館デジタル化資料送信サービス (疎通確認完了)	6	6期法律 P C データインストール	25	リサイクル機準備/場所:プレゼン②
	3	プレゼン1・Ⅱ 新運用調査提案	11	電子図書館取組:京セラ丸善閣部様 (藤懸)	26	雑誌架設作業内回作成及び保存年切れ雑誌の年度末作業終了
	4	WEB OYA利用継続通知申請。ILL複写代金等単価調査資料作成 (主要西部地区・他大学)	12	演習会議 (1617)		
	5	データベース利用案内/7階で展示開始 (5Fカウンター前)	16	和書領し (6&7F→B1&B2) (~19日まで)		
	6	卒業年次生図書館資料返却期日	19	演習会議 (1617)		
	6	フレⅡ 新予約申請・承認説明会 (新システム重大ボタル)	26	演習会議 (1618)		
	10	卒業見込学生に対する未返却図書の催促状発送	30	Limited(→)ジョブアップ8 説明会 (本館環境)		
	11	図書館未返却学生見学生学位記返却手続終了		徳永先生研究室本取引 (熊谷)		
	12	図書館延滞返却者/併償・学位記差止解除1F対応 (卒業生)	31	中国への寄贈:日本科学協会 (大石)		
	15	ILL図書借用依頼 (国内・海外所蔵館調査)。国立国会図書館デジタル化資料送信サービス:				



歴代図書館長

< 歴代 > < 館長名 > (担当専門科目) < 就 任 >

- 初代 浜中直樹 教授 (中国語) 1944 (昭和 19 年) . 5
 2 代 小山文太郎 教授 (社会学) 1956 (昭和 31 年) . 12
 3 代 今田竹千代 教授 (倫理学・哲学) 1963 (昭和 38 年) . 12
 4 代 祥瑞専一 教授 (英語) 1965 (昭和 40 年) . 9-12
 5 代 今田竹千代 教授 (倫理学・哲学) 1965 (昭和 40 年) . 3
 補佐: 室伏 武 教授 (図書館学)
 6 代 小川太郎 教授 (刑事政策) 1972 (昭和 47 年) . 5
 補佐: 室伏 武 教授 (図書館学)
 7 代 古川哲史 教授 (倫理学・日本思想史) 1976 (昭和 51 年) . 4 補佐: 赤廣正男 (事務職)
 8 代 山田清市 教授 (国文学) 1983 (昭和 58 年) . 4
 9 代 喜多了祐 教授 (商法) 1987 (昭和 62 年) . 4
 10 代 瀧川敦一 教授 (民事訴訟法) 1991 (平成 3 年) . 4
 11 代 鈴木義男 教授 (比較刑事法) 1994 (平成 6 年) . 4
 12 代 清瀬信次郎 教授 (商法) 1997 (平成 9 年) . 4
 13 代 中村精志 教授 (国際情報システム) 1998 (平成 10 年) . 4
 14 代 久我雅紹 教授 (英語・西洋文学) 2003 (平成 15 年) . 4
 15 代 森本哲夫 教授 (政治学) 2004 (平成 16 年) . 4
 16 代 渡辺恒利 教授 (数学・物理学) 2008 (平成 20 年) . 4
 補佐: 長田秀一 教授 (図書館情報学)
 17 代 徳永善昭 教授 (経営学・経営戦略論) 2012 (平成 24 年) . 4
 18 代 長田秀一 教授 (図書館情報学) 2014 (平成 26 年) . 4



図書館施設環境		
用途別面積		
(1) サービススペース	閲覧スペース	2,546㎡
	視聴覚スペース	755㎡
	情報端末スペース	331㎡
	その他	546㎡
(2) 管理スペース	書庫	1,696㎡
	事務スペース	423㎡
(3) その他		1,817㎡
(4) 総面積		8,114㎡
閲覧座席数		
総閲覧座席数		725席
うち教員用		16席
書架収容力		
(1) 棚板延長		29,410m
(2) 収容可能冊数 ((1) ÷ 0.9 × 25)		832,000冊
経費		
図書館経費		
経常費		251,996千円
うち資料費総額		149,887千円
a うち図書購入費		60,102千円
b うち新聞・雑誌費		39,906千円
c うち電子ジャーナル等		40,887千円

平成 27 年 3 月 31 日現在

『平成 26 年度 図書館年報』

平成 27 (2015) 年 10 月発行

編集・発行 学校法人亜細亜学園
 亜細亜大学/亜細亜大学短期大学部
 学術情報部学術情報課

編 者 坪内みゆき・安田定彦
 発行責任者 市川隆幸







亜細亜大学・亜細亜大学短期大学部 図書館
(学術情報部学術情報課)

〒180-8629 東京都武蔵野市境 5-24-10

TEL 0422-36-3279 FAX 0422-36-1081

Home Page <http://www.asia-u.ac.jp/lib/>

E-mail library@ml.asia-u.ac.jp